

## 出雲新話 2030 前期基本計画の策定状況について

本年度市議会 9 月定例会において、出雲市総合振興計画「出雲新話 2030」の基本構想の議決をいただきました。

現在、前期基本計画の策定作業を進めているところですが、この策定状況を報告します。

### 記

#### 1. 出雲新話 2030 前期基本計画（素案）について

(1) 計画期間 3 年 令和 4 年度 (2022) ～令和 6 年度 (2024)

(2) 構成

- 計画策定の趣旨（目的及び位置付け、計画期間、構成、推進体制）
- 施策体系図（基本方策及びまちづくりの施策）及び施策名一覧表
- 6 つの基本方策ごとに諸施策を表示
  - ①ともに創る（5 つのまちづくりの施策）
  - ②ともに守る（2 つのまちづくりの施策）
  - ③ともに結ぶ（5 つのまちづくりの施策）
  - ④ともに支える（9 つのまちづくりの施策）
  - ⑤ともに育む（2 つのまちづくりの施策）
  - ⑥ともに楽しむ（4 つのまちづくりの施策）

#### 2. 今後のスケジュール

本年度市議会 12 月定例会で報告



出雲市総合振興計画

出雲新話 2030

**前期基本計画(素案)**

(令和4年度～令和6年度)

# 計画策定の趣旨

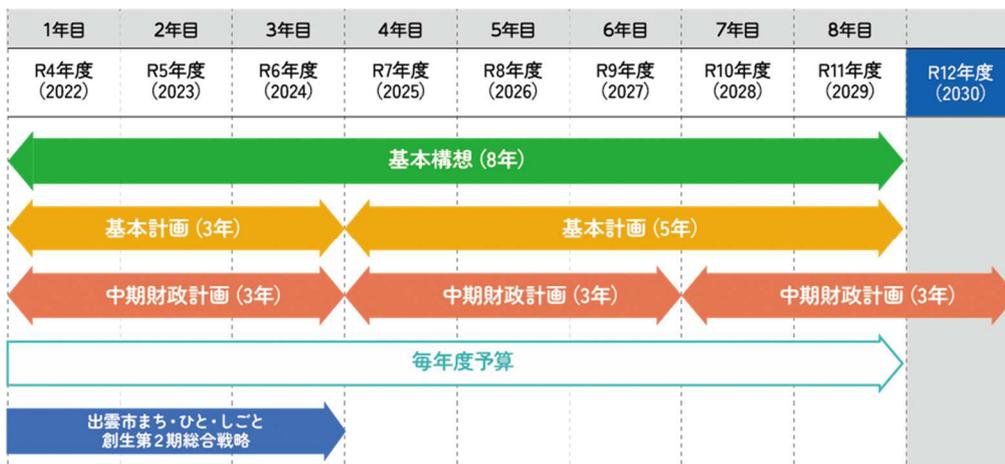
## 1. 目的及び位置づけ

本計画は、出雲市総合振興計画「出雲新話2030」の将来像実現をめざし、前期3年間の基本的な施策・事業を体系的に示すものです。

「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」や各分野で策定された計画等と整合性を図るとともに、「出雲未来図」の評価検証結果を踏まえ策定しました。

## 2. 計画期間

3年 令和4年度（2022）～令和6年度（2024）



## 3. 基本計画の構成

基本方策	まちづくりの施策※	記載内容
1 ともに創る	01～05	基本的方向 施策の方針、方向性 ※該当する基本方策とSDGs取組番号を記載 現状と課題 基本的方向ごとの現状と課題の整理 具体的施策 現状・課題を解決するための施策及び事業 まちづくりの指標 施策の達成度を検証するための数値目標 （重要業績評価指標・KPI）
2 ともに守る	06～07	
3 ともに結ぶ	08～12	
4 ともに支える	13～21	
5 ともに育む	22～23	
6 ともに楽しむ	24～27	

※まちづくりの各施策名は次頁のとおり



## 4. 推進体制

基本計画については、施策ごとに PDCA サイクル（計画・実行・評価・改善）による点検・評価検証を毎年度実施します。

必要に応じて、施策内容や目標値を見直すことで、より効率的で効果的な施策を実施します。



# 【 施策体系図 】

まちづくりの施策（取組）			ともに創る	ともに守る	ともに結ぶ	ともに支える	ともに育む	ともに楽しむ
01	海・山・大地の恵みを生かす	★	●	○	○	○	○	○
02	“出雲”の「ブランド力」で価値を高める	★	●		○		○	○
03	地場企業が地域を支える	★	●		○	○	○	
04	多種多様な企業立地を	★	●		○			
05	「人財力（じんざいりょく）」で地域産業を“前へ”	★	●		○		○	
06	誰もが「安全・安心」に暮らせるまちに	★		●	○	○	○	
07	未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ		○	●		○	○	○
08	期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲	★	○		●	○		○
09	「住みたい」、「住み続けたい」の縁結び	★			●	○		○
10	ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ	★	○	○	●	○		○
11	あのまち・このまち 出雲を結ぶ	★	○		●		○	○
12	いにしへの「財（たから）」を守り、活かす			○	●		○	○
13	「産みたい」「育てたい」を応援	★				●	○	○
14	ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	★	○			●	○	
15	いつまでも元気、ずっと現役で	★	○			●	○	○
16	誰もが大切にされる社会をめざして	★	○	○	○	●	○	○
17	ぬくもりのある福祉サービスを			○		●	○	○
18	地域特性を生かして安心な医療を			○		●		
19	地域とともに持続可能な中山間地域を	★	○	○	○	●	○	○
20	出雲のインフラを整え「安心」を支える			○	○	●	○	
21	デジタルの力で未来をデザイン		○	○	○	●	○	○
22	家庭・地域・学校で育む出雲の教育を	★				○	●	○
23	人が地域を、地域が人を育てる	★			○	○	●	○
24	芸術文化で豊かな出雲を				○	○	○	●
25	スポーツで元気な出雲を				○	○	○	●
26	誰もの「学びたい」を実現					○	○	●
27	出雲の魅力、発信します	★			○		○	●

※★は、「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」に記載

総合振興計画「出雲新話2030」 基本方策 施策名 一覧表

方策 連番	基本方策	施策名		小項目	
		連番	まちづくりの施策（取組）	連番	基本的方向
1	ともに 創る	1	海・山・大地の恵みを生かす	1	新しい農業のカタチへの挑戦
				2	農村環境を次世代へつなぐ
				3	「農林水産業」の魅力アップでやりたい職業へ
				4	農福連携で相乗効果を
				5	循環型林業で新たな道を“伐り”拓く
				6	豊かな海の恵みのタスキをつなぐ
		2	”出雲”のブランド力で価値を高める	7	出雲の“誇り”を全国・世界へ発信
				8	「おいしい出雲」でご縁をつなぐ
				9	海・山・大地の恵みに新たな発想を
		3	地場企業が地域を支える	10	ネットワークで中小・小規模企業の未来を創る
				11	創業支援で夢を叶える
				12	ご縁の力で国内外へビジネスチャンスを拡大
				13	産学官金連携で新商品・新サービスを開発
				14	”きらり”と光る事業者やノウハウを次世代につなぐ
		4	多種多様な企業立地を	15	「出雲で働きたい」を叶える
				16	「魅力度No.1」の企業立地環境を
		5	「人財力（じんざいりょく）」で 地域産業を”前へ”	17	「企業とのご縁」を結ぶ
				18	「帰ってきたい」を全力サポート
				19	「働き続けたい」を100%に
				20	IT人材が育ち、集まるまちへ
				21	出雲で進学の夢を叶える

方策 連番	基本方策	施策名		小項目	
		連番	まちづくりの施策（取組）	連番	基本的方向
2	ともに 守る	6	誰もが「安全・安心」に暮らせる まちに	22	災害から生命・財産を守る
				23	感染症から身を守る
				24	交通事故・犯罪にあわないまちに
				25	安全な「かわ・みち」づくり
				26	「オール出雲」での空き家対策
				27	神話の地～出雲の守り人
				28	地域を守る消防団
				7	未来に向けた脱炭素社会へのチャ レンジ
		30	みんなで取り組むCO <sub>2</sub> 削減		
		31	3Rで資源の循環を		
		32	安全安心・快適な生活環境を次の世代へ		
		33	豊かな自然環境を次の世代へ		
		34	トキが飛び交う「美しい出雲」を		
		3	ともに 結ぶ	8	期待（来たい）が膨らむ観光のま ち出雲
36	デジタルプロモーションで出雲旅へいざなう				
37	「来て、観て、泊まって」出雲で満足				
38	広域観光で楽しむ				
39	日本遺産で魅力を発信				
40	「おもてなし」の環境を整える				
9	「住みたい」、「住み続けたい」 の縁結び				
				42	外国人住民が暮らしやすいまちづくり
				43	人と人との縁を結び「結婚したい」を後押し
				44	対話を通じたまちづくり
10	ヒト、モノ、コトを短時間でつな ぐ			45	国内外を結ぶ出雲縁結び空港
				46	線路がつなぐ旅と暮らし
				47	賑わう出雲河下港に
				48	魅力ある「みち」づくりをプッシュする
				49	8の字ルートの「みち」づくり

方策 連番	基本方策	施策名		小項目	
		連番	まちづくりの施策（取組）	連番	基本的方向
3	ともに 結ぶ	11	あのまち・このまち 出雲と結ぶ	50	広域連携でスケールメリットを最大限に発揮
				51	ジオパークが大地と人とのつながりを伝える
				52	国際交流で「IZUMO人」を育てる
				53	国内交流で出雲ファンを増やす
		12	いにしへの「財（たから）」を守り、活かす	54	出雲のルーツを探り、学び伝える
				55	出雲の財（たから）を未来へつなぐ
				56	いにしへの出雲を魅せる
				57	過去と未来を結ぶ人を育てる
4	ともに 支える	13	「産みたい」「育てたい」を応援	58	子育てしやすい環境をつくる
				59	子ども・若者を地域で育て、見守る
		14	ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を	60	ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を
		15	いつまでも元気、ずっと現役で	61	生涯現役の社会をつくる
				62	健康管理をし、健康寿命を延ばす
				63	「食」から豊かな人生を
		16	誰もが大切にされる社会をめざして	64	多様な価値観を認め、人権意識を高める
				65	多様性を認めあい、みんなでつくる ～多文化共生～
				66	多様性を認める社会の実現 ～ソーシャルインクルージョン～
		17	ぬくもりのある福祉サービスを	67	誰もが自分らしく活躍できる社会を ～地域共生社会～
				68	障がい者の自立と社会参加を支える
				69	高齢者の暮らしを支える
		18	地域特性を生かして安心な医療を	70	質の高い効率的な医療の提供
		19	地域とともに持続可能な中山間地域を	71	中山間地域に新たな風を
				72	中山間地域のポテンシャルを生かす
73	安心して住み続けられる中山間地域を				

方策 連番	基本方策	施策名		小項目	基本的方向		
		連番	まちづくりの施策（取組）	連番			
4	ともに 支える	20	出雲のインフラを整え「安心」を 支える	74	地域の「かわ・みち」づくりで生活を豊かに		
				75	住まいを整える		
				76	上下水道で快適な生活を支える		
				77	利便性と癒しの都市空間を		
				78	みんなのための地域内交通		
				79	グリーンステップC谷を生かす		
				80	出雲らしい景観を守りぬく		
		21	デジタルの力で未来をデザイン	81	市民サービスのデジタルファースト		
				82	まちづくりのデジタルファースト		
				83	産業・観光のデジタルファースト		
				84	ともにデジタルファースト		
		5	ともに 育む	22	家庭・地域・学校で育む出雲の教 育を	85	質の高い教育で学力アップ
						86	ICT機器の活用で新たな学びのスタイルを
						87	学びを広げ深める学校図書館へ
88	ふるさとへの愛を育む						
89	家庭・地域と学校が手をつなぐ						
90	出雲ならではの学び体験を						
91	子どもの育ちをなめらかにつなぐ						
92	一人ひとりの子どもの成長を支える						
93	日本語指導で広がる子どもの希望						
94	安全・安心でおいしい学校給食を						
95	学びの場を整える						

方策 連番	基本方策	施策名		小項目	
		連番	まちづくりの施策（取組）	連番	基本的方向
5	ともに 育む	23	人が地域を、地域が人を育てる	96	市民協働の力が地域課題を解決
				97	多様な学びを地域で生かす
				98	NPO法人等の力を伸ばす
				99	ボランティア活動のススメ
				100	自治会加入で暮らしに安心を
				101	”コミセン”が43のふるさとを支える
				102	高等教育機関との連携で地域課題を解決
6	ともに 楽しむ	24	芸術文化で豊かな出雲を	103	芸術文化でこころ豊かに
				104	芸術文化を支える人づくり
				105	出雲が誇る文化観光資源を世界へ発信
		25	スポーツで元気な出雲を	106	自分を超えろ、神話をつくれ ～島根かみあり国スポ・障スポ～
				107	「する」「みる」「支える」スポーツへ ～Enjoy sports Enjoy Life～
				108	スポーツを支える人づくり
		26	誰もの「学びたい」を実現	109	地域で学び、楽しむ
				110	なんでも見つかる情報の宝庫
				111	子どもと本のかけ橋に
		27	出雲の魅力、発信します	112	出雲ファンを増やす
				113	「いずもな暮らし」からはじめよう
				114	日本中を駆ける！ヤマタノオロチ（出雲ナンバー）
				115	みんなに伝わる出雲の情報

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 01

基本的方向							現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)		
<p>【「農林水産業」の魅力アップでやりたい職業へ】</p> <p>出雲の農林水産業の魅力を積極的に発信し、Uターン者を含め人材の掘り起こしに努めるとともに、新規就業を支援することで、担い手の確保・育成を進めます。</p>							<p>○ 農業従事者の高齢化に伴い、担い手農業者が減少しています。</p> <p>○ 本市は、新規就農者が増加しており、就農への相談は多いですが、農地の確保や品目の偏り、中山間地域への就農などの課題もあります。</p> <p>○ Uターンによる認定新規就農者の割合は30%となっています。</p> <p>○ 認定農業者等の後継者の把握が十分できていません。</p> <p>○ 資材高騰の影響により、就農時における農業機械・施設整備等の初期投資費用への負担が増えています。</p>	<p>○ アグリビジネススクールを開講し、生産技術や農業経営の基礎を学ぶ機会の提供。</p> <p>○ Uターンフェアや市のホームページを活用し、Uターン者等の就業促進に向けて情報を発信。</p> <p>○ 本市における就業モデルを関係機関と連携して作成し、就農者を確保。</p> <p>○ 国や県、市の補助事業により、認定新規就農者の初期投資費用の軽減を図る。</p> <p>○ 自営就農を希望する者を雇用して研修を行う農業法人を支援し、自営就農者の増加に取り組む。</p>	<p>認定新規就農者数 (累計)</p> <p>※目標値は令和3年度からの累計数値</p>		
基本方針の番号	1	2	3	4	5	6			現状値	目標値	
SDGsの取組番号	15	17							33人	54人 (+63%増)	89人 (+65%増)
基本的方向							現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)		
<p>【「農林水産業」の魅力アップでやりたい職業へ】</p> <p>出雲の農林水産業の魅力を積極的に発信し、Uターン者を含め人材の掘り起こしに努めるとともに、新規就業を支援することで、担い手の確保・育成を進めます。</p>							<p>○ 林業従事者の高齢化・後継者不足から、林業の担い手は減少傾向にあります。</p> <p>○ 林業のみでは安定的な事業量が見込めないことから、常勤職員の雇用が難しい状況です。</p> <p>○ 新たに林業に就業するにあたり初期経費が高額となっています。</p>	<p>○ 新規林業就業者を雇用する林業事業体へ、雇用に必要な社会保険料等の一部を支援。</p> <p>○ 循環型林業の推進と林業の省力化の支援をすることで、安定した林業経営の環境を確保。</p> <p>○ 新規林業就業にあたり必要なチェーンソー、安全防具等備品の購入を支援。</p>	<p>まちづくりの指標 (KPI)</p>		
基本方針の番号	1	2	3	4	5	6			現状値	目標値	
SDGsの取組番号	15	17									
基本的方向							現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)		
<p>【「農林水産業」の魅力アップでやりたい職業へ】</p> <p>出雲の農林水産業の魅力を積極的に発信し、Uターン者を含め人材の掘り起こしに努めるとともに、新規就業を支援することで、担い手の確保・育成を進めます。</p>							<p>○ 海面漁業の新規就業者は年平均4人、うち新規自営漁業者については、年平均1人と厳しい状況が続いています。</p> <p>また、65歳以上の高齢者の比率は57%となっています。</p> <p>○ 現在、県の研修制度を活用し、市内で漁業体験・研修を行う人が複数いる状況です。これらの人が市内でスムーズに着業できる環境を整えることが課題です。</p>	<p>○ 新規着業にあたり必要となる漁船・漁具の購入経費の一部を支援。</p> <p>県事業：沿岸漁業スタートアップ事業</p> <p>市事業：21世紀水産業総合助成事業</p> <p>○ 定置網等企业体が新規就業者を雇用する際の基本給の一部を支援。</p> <p>市事業：21世紀水産業総合助成事業</p>	<p>まちづくりの指標 (KPI)</p>		
基本方針の番号	1	2	3	4	5	6			現状値	目標値	
SDGsの取組番号	14	15	17								

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 01

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【農福連携で相乗効果を】 障がい者等の農業分野での活躍を促す農福連携の取組を支援し、農業分野の働き手の確保と障がい者等の就労機会の拡大に努めます。	基本方策の番号	1	2	3	4	5	6	〇島根県障がい者就労事業振興センター、出雲圏域農福連携推進協議会との連携により、マッチングの増加に取り組み。 〇連携事例等の情報提供による農福連携事業を農業者へ周知。 〇障がいの特性や障がい者の個性に合わせた作業工程の検討を行い、就労が可能な作業の掘り起こしを実施。 〇農福連携に必要な農業機械・施設整備等を各種補助事業により支援。	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	14	15	17					令和6年度	令和11年度	
基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【循環型林業で新たな道を“伐り”拓く】 「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業による市産材の生産拡大に努めます。	基本方策の番号	1	2	3	4	5	6	〇航空レーザー計測で収集した樹高や樹齡などの情報を林業事業者へ提供することで、森林経営計画の策定を支援。 〇住宅等の建設だけでなく市産材の多用途な利用を促進。 〇航空レーザー計測で収集した情報をリモートセンシング技術による地籍調査に活用することで、円滑な林業が行える環境を整備。	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	13	14	15	17				令和6年度	令和11年度	
基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【豊かな海の恵みのタスキをつなぐ】 〇地域特性を生かした水産業の振興と資源維持・増大を図ります。 〇漁港長寿命化により、漁港の安全な利用を図ります。	基本方策の番号	1	2	3	4	5	6	〇国・県・市とも、様々な支援施策を行い、個人を含む漁業経営体の育成に取り組みであり、市としても引き続き必要な施策を実施。 市事業：21世紀水産業総合助成事業 内水面活性化助成事業 など 〇長寿命化工事の工法、事業費やスケジュールの精査を行い、経費の削減に努める。 〇国庫補助事業が活用できない漁港については、有利な起債を活用し、円滑な事業推進に努める。	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	13	14	15	17				令和6年度	令和11年度	

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 02

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【出雲の“誇り”を全国・世界へ発信】 出雲が誇る製品を出雲ブランド商品として認定し、全国・世界に発信することで、企業活動の活性化と出雲の認知度やイメージ向上など好循環の形成をめざします。	基本方策の番号	1	3	5	6			○デジタルマーケティングなどの効果的な手法を用いて、個々の商品が持つ出雲の風土や歴史等に基づいたストーリー性、技術などの情報発信を行い、認定された商品を通じて「出雲」の認知度向上に努める。 ○更なる販売促進を図り、雇用の創出につなげる。	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	8	9	11	14	17			26商品	令和6年度 30商品	令和11年度 40商品
基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【「おいしい出雲」でご縁をつなぐ】 厳選された出雲推奨商品「おいしい出雲」について、周知拡大、普及促進を図り、出雲の認知度向上やイメージ向上に努めます。	基本方策の番号	1	3	5	6			○首都圏総合スーパー及び市内スーパー等での出雲フェア開催、イベント等でのPRを行い、更なる販路拡大、販売促進に取り組む。 ○「おいしい出雲」のブランド力が高まるよう、良質な商品を揃えることで相乗効果を図る。	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	8	9	11	14	17			133商品	令和6年度 160商品	令和11年度 180商品

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)		
【海・山・大地の恵みに新たな発想を】 出雲が誇る豊かな農林水産資源に新たな発想を加え、ブランド化を推進することで、特産品の生産拡大・販売を支援します。	基本方策の番号	1	3	5	6	○ぶどうは、島根県を代表するブランド農産物であり、その生産量の約8割を本市が占めています。しかし、生産者の高齢化やハウスの老朽化等により、栽培農家・面積が減少しています。 ○デラウェアは全国有数の加温栽培の産地として、市場からも評価が高いですが、出荷要望数量に対応できていない状況です。 ○アスパラガスは、近年新規就農者も多く、産地拡大が進んでおり、生産量・販売額ともに増加しています。 ○アジサイは、県のオリジナル品種（5品種）としてブランド化も図られ、市場からの評価も高く、販売額も増加しています。					現状値	目標値
	SDGsの取組番号	8	9	11	14	17	令和6年度	令和11年度	現状値	目標値		
基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)		
【海・山・大地の恵みに新たな発想を】 出雲が誇る豊かな農林水産資源に新たな発想を加え、ブランド化を推進することで、特産品の生産拡大・販売を支援します。	基本方策の番号	1	3	5	6	○ヤマトジミは、宍道湖、神西湖、神戸川で盛んに漁が行われ、日本一の生産量を誇っています。しかし、漁獲量には年による変動があるため、各漁協はシジミの生息環境を守る取組を行っています。 ○宍道湖漁協においては、ブランド化にも取り組んでいけるものの、昨今の新型コロナウイルスの影響により、都議会におけるPR活動等のイベントができない状況が続いています。					現状値	目標値
	SDGsの取組番号	8	9	11	14	17	令和6年度	令和11年度	現状値	目標値		

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 03

基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)
【ネットワークで中小・小規模企業の未来を創る】 関係機関が連携して、中小企業・小規模企業の振興施策に取り組むことにより、本市経済の持続・発展につなげます。	基本方策の番号	1 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出雲市中小企業・小規模企業振興計画に基づき、経営相談、融資、人材の確保など、様々な場面で商工会議所・商工会や金融機関、関係機関が連携してそれぞれの役割が十分発揮できるような体制を構築し、支援を実施。</li> <li>○ 企業の新たな技術力獲得のための研修等を支援することで、企業の技術力向上と企業同士の連携を図る。</li> </ul>	現状値
	SDGsの取組番号	8 9 17		目標値
基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)
【創業支援で夢をかええる】 新規創業者の増加に向け、市内商工会等と連携して、創業の夢をかええる施策を展開し、地域経済活性化を図ります。	基本方策の番号	1 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 創業の機運醸成のための情報発信やセミナー、創業のための基礎的な知識習得のためのセミナーを開催。</li> <li>○ 創業者が関係機関の支援を受け十分な準備のうえで開業し、安定した経営を行うよう創業者を支援すること等で持続的、発展的な地域経済の活性化を図る。</li> <li>○ 創業後も経営指導をはじめとする支援を受けることができるよう、支援機関（市内商工会、金融機関、NPO法人21世紀出雲産業支援センター）などと連携。</li> </ul>	現状値
	SDGsの取組番号	8 9 17		目標値
基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)
【ご縁の力で国内外へビジネスチャンスを広大】 取引先とのマッチング機会を提供・支援し、市内事業者の国内・国外に向けた販路拡大を図ります。	基本方策の番号	1 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国内向け販路拡大として、21世紀出雲産業支援センターと連携した全国規模の展示会への出展支援や販売拡大に向けた商品の磨き上げにつなげるセミナーや商談会の企画のほか、インターネットを利用した販売強化など、販路拡大に向けた支援を実施。</li> <li>○ また、中海・宍道湖・大山圏域内の商談会・展示会により、ビジネスマッチングの機会を設け、企業間連携強化を図る。</li> <li>○ 国外向けには貿易に必要な知識を習得するセミナーを日本貿易振興機構と共催する。</li> </ul>	現状値
	SDGsの取組番号	8 9 17		目標値

(まちづくりの施策)

基本的方向						現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【産学官金連携で新商品・新サービスを開発】 島根大学医学部と進めてきた医工連携に加え、新たな産学官金（企業・大学・行政・金融）等の連携により、新商品・新サービスの開発を促進します。	基本方策の番号	1	3	4	5	〇市内企業の付加価値向上のため、これまで、島根大学医学部や医療関係機関の集積をいかし、医工連携に力点を置いてセミナー開催や医療関係展示会やいずも産業未来博への出展といったマッチング支援、情報発信などを行っています。 〇引き続き推進しつつ、医工連携以外の分野へも広げていくことが必要です。	〇島根大学医学部からのニーズ提案をもとにしたマッチングや、商工団体、商工支援団体、中海・宍道湖・大山圏域の取組と連携した相談会の開催、いずも産業未来博への出展、情報発信などを実施。 〇21世紀出雲産業支援センターと連携し、企業の新たなビジネス創出や企業活動拡大を目的に、企業のニーズ・強み・課題等の把握、企業の潜在力の掘り起しを行い、市内企業を中心に、マッチング機会(場)の提供、直接的なビジネスマッチングを行うとともに、島根県が行う産学官連携の事業も活用しながら情報収集に努め、島根大学のみならず島根県立大学や松江高等専門学校なども連携ができるよう支援を実施。	現状値	目標値	令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号	8	9	17							
基本的方向						現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【“きらり”と光る事業者やノウハウを次世代につなぐ】 出雲で培ってきた技術やノウハウを有する事業者を次世代へつなぐため、専門機関等と連携して円滑な事業承継を支援します。	基本方策の番号	1	3	4	5	〇経営者の高齢化が進み、後継者の不在の度合いが高く、自分の代で廃業を考えている経営者が数多くいます。 〇廃業によって、長年にわたり蓄積されてきた固有の技術やサービス等の経営資源が引き継がれないことによる雇用の場の喪失、取引先減少による地域経済の落ち込みが懸念されます。 〇事業の引継ぎには、複数の方法があり、専門的な手続も多岐にわたり、時間と手間が必要となす、個々の企業等によって状況が様々です。	事業承継に必要な基本的事項や早期準備の必要性を訴えるセミナー等を開催することで、広く意識啓発を行いながら、相談窓口である商工団体、島根県事業承継・引継ぎセンターへ円滑につなげる体制を維持。	現状値	目標値	令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号	8	9	17							

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)																												
<p>【「出雲で働きたい」をかなえる】 若者やUターン者の夢をかなえるため、企業誘致を強力に推進することで、産業基盤を強固にするとともに、様々な産業分野における多様な雇用の場を創出します。</p>		<p>○市内へ活力ある若者を呼び込むため、経済情勢に左右されにくい強固な産業基盤を確立し、多種多様な業種、職種の誘致を進める必要があります。 ○製造業、ソフト産業の誘致企業の市内での事業拡張や新規立地企業への支援を行っています。</p>	<p>○企業立地優遇制度を活用した企業の積極的な誘致。</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td>200人</td> <td>令和6年度</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>令和11年度</td> <td>200人</td> </tr> </table>	現状値		目標値			200人	令和6年度	200人			令和11年度	200人																
現状値		目標値																														
	200人	令和6年度	200人																													
		令和11年度	200人																													
<p>基本方策の番号</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9</td> <td>17</td> <td></td> </tr> </table> <p>SDGsの取組番号</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		1	3			8	9	17										<p>現状・課題</p> <p>○市内工業団地の分譲率が96.7%に達する中、新たな企業進出に備え、斐川インターチェンジ付近での新たな工業団地整備を進めています。 ○斐川新工業団地の売却状況や他地域等への進出意向を示す企業ニーズなどを見極めたうえで新たな工業団地の整備を検討することとしています。 ○市が整備したサテライトオフィスや空家活用等による中山間地域へのソフト産業の立地を促進し、人口減少地域の活性化や定住促進を目指しています。</p>	<p>具体的施策</p> <p>○斐川新工業団地の分譲地への製造業誘致。 ○日御崎サテライトオフィスへのソフト産業誘致。</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>令和6年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>令和11年度</td> <td></td> </tr> </table>	現状値		目標値				令和6年度				令和11年度	
1	3																															
8	9	17																														
現状値		目標値																														
		令和6年度																														
		令和11年度																														
<p>基本方策の番号</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9</td> <td>17</td> <td></td> </tr> </table> <p>SDGsの取組番号</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		1	3			8	9	17										<p>【「魅力度No.1」の企業立地環境を】 ○製造業を中心とした新たな企業用地として、斐川地域での新工業団地整備を進めるほか、企業の進出ニーズによって、新たな工業団地の整備も検討します。 ○日御崎サテライトオフィスなど企業の進出意欲を高める立地環境の整備を行いながら、若者の就業ニーズに合うソフト産業の一層の誘致を進めます。</p>	<p>具体的施策</p> <p>○斐川新工業団地の分譲地への製造業誘致。 ○日御崎サテライトオフィスへのソフト産業誘致。</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>令和6年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>令和11年度</td> <td></td> </tr> </table>	現状値		目標値				令和6年度				令和11年度	
1	3																															
8	9	17																														
現状値		目標値																														
		令和6年度																														
		令和11年度																														

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)												
<p>【「企業とご縁」を結ぶ】</p> <p>出雲地区雇用推進協議会における高校生・大学生等の就職支援の取組を進めるとともに、UTターン者、外国人住民など幅広い就職支援に取り組みます。</p>	基本方策の番号	1 3 5	<p>○学生就職サポーター、職業相談員を中心に、関係機関との連携による学生、UTターン者、外国人住民への幅広い情報発信。</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	現状値		目標値				令和6年度	令和11年度				
	現状値				目標値											
					令和6年度	令和11年度										
SDGsの取組番号	8 9 11 17															
基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)												
<p>【「帰ってきたいを全カサポート】</p> <p>県外での交流イベント、県外大学等との情報交換、いずも学生登録制度による情報発信に加え、学生就職支援窓口の開設、アプリを活用した情報発信・相談対応などを強化し、県外学生の地元就職を促進します。</p>	現状・課題	<p>○学生就職支援窓口の開設、学生就職サポーターの配置による学生の就職相談、支援体制の充実。</p> <p>○アプリの活用による情報発信・相談対応の強化。</p>	<p>県外交流会参加学生数</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td></td> <td>60人</td> <td>60人</td> </tr> </table>	現状値		目標値				令和6年度	令和11年度	-		60人	60人	
	現状値			目標値												
					令和6年度	令和11年度										
-		60人	60人													
基本方策の番号	1 3 5															
SDGsの取組番号	8 9 11 17															
基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)												
<p>【「働き続けたい」を100%に】</p> <p>○誰もが働きやすく、能力を活かし活躍できる職場づくりを支援し、企業の若手社員や中堅社員の定着率の向上を図ります。</p> <p>○求める人材の確保と就業機会の提供のため、企業と求職者のマッチングに取り組みます。</p>	現状・課題	<p>○職場の働き方改革を推進し、職場定着につなげるためのセミナーの継続実施。</p>	<p>職場定着向上セミナー受講者数</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td>40人</td> <td></td> <td>100人</td> <td>100人</td> </tr> </table>	現状値		目標値				令和6年度	令和11年度	40人		100人	100人	
	現状値			目標値												
					令和6年度	令和11年度										
40人		100人	100人													
基本方策の番号	1 3 5															
SDGsの取組番号	8 9 11 17															

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
【IT人材が育ち、集まるまちへ】 デジタル社会の進展によるIT産業の成長を見据え、市内IT企業の人材確保と、IT人材の育成を支援します。	基本方策の番号	1	3	5		現状値	目標値		
	SDGsの取組番号	8	9	11	17	令和6年度	令和11年度		
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
【出雲で進学の夢をかなえる】 新たな進学の選択肢を増やすため、出雲での雇用につながる工科系大学をはじめとする高等教育機関の誘致をめざします。		○本市の高等教育機関は、島根大学医学部をはじめ、島根県立大学、出雲医療看護専門学校、トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校、出雲コアカレッジ等があり、これらの高等教育機関においては、主として、医療福祉分野での人材育成及び人材確保に大きく貢献されています。 ○島根県立東部高等技術校においては、就業に必要な技術や技能、専門知識を習得するための職業訓練を行う職業能力開発施設として、美容科、自動車工学科、住環境・土木科、Webデザイン科等が設置されています。併せて、仕事を求める外国人に向けた、働くために必要な日本語やコミュニケーション能力を身につけてもらうための「定住外国人向け職業訓練コース」を令和3年9月から開設されています。 ○令和4年4月に新たに「出雲芸術高等学院」も設立され、多様な分野の選択肢が整いつつあります。 ○本市には、工科系大学はなく、工科系大学をめざす学生は、市外あるいは県外への大学への選択肢しかない状況です。 ○令和5年度から、島根大学（松江市）に新たに工学系新学部「材料エネルギー学部」が新設されます。この学部は、県内の産業振興を図り、島根創生に資することをめざし、島根県及び県内産業界とともに構想されてきました。全世界で対応が急がれるエネルギー問題を、素材・材料の視点から理解し解決する新材料・新素材の研究開発を通して、社会と未来を大きく変えるイノベーション人材を養成されることとなっています。 ○こうした様々な状況のなか、少子高齢化に伴い、生徒数は減少傾向にあります。進学への多様な選択肢を増やす取組が必要です。		○情報技術は、私たちの生活、企業活動など様々な場面で活用され、社会基盤を支える重要な柱の一つとなっています。 ○少子高齢化が進む中において、IT技術を活用した新たな価値の創造、利便性・生産性の向上にデジタル化の重要性が増しており、これからはIT関連産業が発展していくことが見込まれています。 ○IT関連産業の発展に伴って、市内IT企業の従事者数が年々増えています。 ○今後も、IT人材に対する需要が高い状態が続くことが予想されることから、人材の確保競争が一層激しくなることが考えられます。		○首都圏等の技術者と市内IT企業との交流、若年層を対象としたITセミナー、子どもを対象とするプログラミング教室等を開催。 ○島根県や市内IT企業で構成される「チーム出雲オープンビジネス協議会」、大学、専門学校なども連携し、人材の確保に向けたITエンジニア転職フェアへの参加、市内IT企業をより知ってもらえる見学ツアーを実施。 ○これらのことを総合的に行うことで、IT企業の成長に欠かせない人材の育成・確保を図る。		現状値	目標値
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
【出雲で進学の夢をかなえる】 新たな進学の選択肢を増やすため、出雲での雇用につながる工科系大学をはじめとする高等教育機関の誘致をめざします。		○本市の高等教育機関は、島根大学医学部をはじめ、島根県立大学、出雲医療看護専門学校、トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校、出雲コアカレッジ等があり、これらの高等教育機関においては、主として、医療福祉分野での人材育成及び人材確保に大きく貢献されています。 ○島根県立東部高等技術校においては、就業に必要な技術や技能、専門知識を習得するための職業訓練を行う職業能力開発施設として、美容科、自動車工学科、住環境・土木科、Webデザイン科等が設置されています。併せて、仕事を求める外国人に向けた、働くために必要な日本語やコミュニケーション能力を身につけてもらうための「定住外国人向け職業訓練コース」を令和3年9月から開設されています。 ○令和4年4月に新たに「出雲芸術高等学院」も設立され、多様な分野の選択肢が整いつつあります。 ○本市には、工科系大学はなく、工科系大学をめざす学生は、市外あるいは県外への大学への選択肢しかない状況です。 ○令和5年度から、島根大学（松江市）に新たに工学系新学部「材料エネルギー学部」が新設されます。この学部は、県内の産業振興を図り、島根創生に資することをめざし、島根県及び県内産業界とともに構想されてきました。全世界で対応が急がれるエネルギー問題を、素材・材料の視点から理解し解決する新材料・新素材の研究開発を通して、社会と未来を大きく変えるイノベーション人材を養成されることとなっています。 ○こうした様々な状況のなか、少子高齢化に伴い、生徒数は減少傾向にあります。進学への多様な選択肢を増やす取組が必要です。		○国の施策の動向等の情報収集に努め、工科系に限らず幅広い視点で可能性を探る。 ○近隣自治体における高等教育機関の動向等の情報収集に努め、サテライトキャンパスも選択肢に入れないが可能性を探る。		現状値	目標値		
基本方策の番号	1	3	5			現状値	目標値		
SDGsの取組番号	8	9	11	17		令和6年度	令和11年度		

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題					具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【災害から生命・財産を守る】 ○様々な災害から市民の生命・財産を守るため、防災訓練などを通して「自助・共助・公助」のバランスのとれた防災体制の確立を推進します。 ○原子力防災については、万が一の原子力災害時に円滑な住民避難を行うことができるよう広域避難計画の更なる実効性向上に努めます。	基本方策の番号	2	3	4	5	○防災行政無線の戸別受信機及び防災メールの普及を図り、災害時の情報提供体制を構築するとともに、防災訓練や地域・学校等への出前講座などを通して、市民の防災意識の向上を図りました。 ○原子力防災については、安全協定を中国電力(株)と締結し、その後も原子力発電所立地自治体と同様の安全協定の締結をめざし取組を進めてきました。また、広域避難計画を策定するとともに、毎年度、原子力防災訓練を実施しています。 ○過去の災害から得られた教訓、最新の知見・技術の進歩等を踏まえ、適宜、地域防災計画等を見直し、防災体制の充実・強化を図るとともに、職員の災害対応力と市民の防災意識の更なる向上を図る必要があります。	具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
	SDGsの取組番号	17		9	11		13	現状値	目標値	
								令和6年度	令和11年度	
							29,735 (世帯・人)	48,000 (世帯・人)	55,000 (世帯・人)	
基本的方向		現状・課題					具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【感染症から身を守る】 新型コロナウイルス感染症の対応はもとより、鳥インフルエンザ及び未知の感染症などに備えるため、医療機関や関係機関と連携し、危機管理体制を拡充します。 ○日本紅斑熱やツツガムシ病など、蚊やマダニが媒介する感染症予防について、注意喚起を行いました。 ○感染症の流行を早期に把握し、流行が拡大する前に対策を講じることが必要です。 ○新型コロナウイルス感染症など、新たな感染症に対する正しい知識の普及啓発が必要です。	基本方策の番号	2	3	4	5	○感染症に係る緊急事態の発生に対処するため、出雲市緊急事態対処計画において必要な対策、危機管理体制などを定めています。 ○感染症予防のため、子どもの予防接種（ヒブ、肺炎球菌、日本脳炎、麻疹・風しんなど）及び高齢者の予防接種（インフルエンザ、肺炎球菌）を進めました。 ○国、県、保健所及び医療機関など関係団体との情報共有と連携強化。 ○感染予防策の情報発信。 ○予防接種の推進。	具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
	SDGsの取組番号	17		9	11		13	現状値	目標値	
								令和6年度	令和11年度	

(まちづくりの施策)

基本的方向					現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)																					
<p><b>【交通事故・犯罪にあわないまちに】</b></p> <p>○市民誰もが安心して過ごせるよう、交通事故防止対策及び防犯対策に取り組みます。</p> <p>○身近に起こりうる消費者被害にあわないために、利用しやすい消費者相談窓口業務の充実に努めるとともに、出前講座等の啓発活動を推進します。</p>					<p>現状・課題</p> <p>○交通事故防止対策及び防犯対策として、交通安全教室の開催、防犯ボランティア団体への支援、防犯灯の設置などを行いました。</p> <p>○交通事故防止対策については、交通安全対策協議会、交通指導員、警察等と連携した取組を推進し、市民の安全確保に努めています。</p> <p>○防犯対策については、防犯ボランティア団体や警察等と連携した取組を推進し、市民の安全・安心の確保に努めています。</p>		<p>具体的施策</p> <p>○交通安全意識の啓発及び指導。</p> <p>○防犯ボランティア団体等への支援。</p> <p>○防犯灯の設置及び補助。</p>		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			現状値	目標値		令和6年度	令和11年度														
現状値	目標値																													
	令和6年度	令和11年度																												
<p><b>【交通事故・犯罪にあわないまちに】</b></p> <p>○身近に起こりうる消費者被害にあわないために、利用しやすい消費者相談窓口業務の充実に努めるとともに出前講座等の啓発活動を推進します。</p>					<p>現状・課題</p> <p>○インターネットの普及により、消費者被害がより複雑になっており、高齢者や障がい者などが被害にあいやすい状況があります。また、成年年齢引き下げられたことにより、若年層へも被害が拡大することが懸念されます。</p>		<p>具体的施策</p> <p>○時代とともに変化する消費者トラブルに迅速かつ柔軟に対応するため、専門の相談員を配置し、関係機関と協力して市民に対する啓発の機会を増やす。</p>		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			現状値	目標値		令和6年度	令和11年度														
現状値	目標値																													
	令和6年度	令和11年度																												
<p><b>基本的方向</b></p> <table border="1"> <tr> <td>基本方策の番号</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>SDGsの取組番号</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					基本方策の番号	2	3	4	5		1	3	4	9	11	13	SDGsの取組番号	17												
基本方策の番号	2	3	4	5																										
	1	3	4	9	11	13																								
SDGsの取組番号	17																													
<p><b>基本的方向</b></p> <table border="1"> <tr> <td>基本方策の番号</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>SDGsの取組番号</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					基本方策の番号	2	3	4	5		1	3	4	9	11	13	SDGsの取組番号	17												
基本方策の番号	2	3	4	5																										
	1	3	4	9	11	13																								
SDGsの取組番号	17																													

(まちづくりの施策)

基本的方向						現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<b>【安全な「かわ・みち」づくり】</b> ○自然災害から市民の生命や財産を守るため、治水・砂防事業や河川改修・整備などを推進し、安全な地域づくり・住環境づくりに取り組めます。						<b>(河川事業)</b> ○上流部のダム建設、中流部の放水路は完成しています。下流部の大橋川改修及び宍道湖、中海の護岸堤整備が完成する事により治水効果が発揮されるため、事業推進を国に働きかける必要があります。 ○新内藤川流域4河川は、暫定改修済。今後早期本改修が完成するよう県に働きかける必要があります。 ○平田船川、湯谷川の早期暫定改修が完了するよう県に働きかける必要があります。 ○五右衛門川、高瀬川の早期本改修が完成するよう働きかける必要があります。 <b>(砂防事業)</b> ○近年の気象状況の変化に伴い、自然災害が頻発しています。令和3年の大雨災害でも多数の被害が発生しました。これらの災害復旧や未然に災害を防止する取り組みとして砂防関連対策が求められています。		<b>(河川事業)</b> ○斐伊川神戸川治水事業 (国) ○新内藤川流域河川整備事業 (県) ○十間川水系河川整備事業 (県) ○平田船川、湯谷川河川整備事業 (県) ○五右衛門川、高瀬川河川整備事業 (県)		現状値 令和6年度 目標値 令和11年度	
<b>基本的方向</b>						<b>現状・課題</b>		<b>具体的施策</b>		<b>まちづくりの指標 (KPI)</b>	
<b>【安全な「かわ・みち」づくり】</b> ○自然災害から市民の生命や財産を守るため、治水・砂防事業や河川改修・整備などを推進し、安全な地域づくり・住環境づくりに取り組めます。 ○歩行者、自転車利用者の安全を確保するため、歩道などの地域生活の安全対策に努めます。						○地域の交通安全については、住民の交通安全に対する意識の高まりや宅地化による道路環境の変化、区画線などの施設の老朽化により、交通安全施設の設置や修繕の要望が多く寄せられています。		○道路パトロールや交通安全対策協議会などからの要望に伴う点検結果に基づいて、交通安全施設の整備や修繕を行い、歩行者や自転車利用者の安全確保を図る。		現状値 令和6年度 目標値 令和11年度	
<b>基本的方向</b>						<b>現状・課題</b>		<b>具体的施策</b>		<b>まちづくりの指標 (KPI)</b>	
<b>【安全な「かわ・みち」づくり】</b> ○自然災害から市民の生命や財産を守るため、治水・砂防事業や河川改修・整備などを推進し、安全な地域づくり・住環境づくりに取り組めます。 ○歩行者、自転車利用者の安全を確保するため、歩道などの地域生活の安全対策に努めます。						○地域の交通安全については、住民の交通安全に対する意識の高まりや宅地化による道路環境の変化、区画線などの施設の老朽化により、交通安全施設の設置や修繕の要望が多く寄せられています。		○道路パトロールや交通安全対策協議会などからの要望に伴う点検結果に基づいて、交通安全施設の整備や修繕を行い、歩行者や自転車利用者の安全確保を図る。		現状値 令和6年度 目標値 令和11年度	
<b>基本的方向</b>						<b>現状・課題</b>		<b>具体的施策</b>		<b>まちづくりの指標 (KPI)</b>	
<b>【安全な「かわ・みち」づくり】</b> ○自然災害から市民の生命や財産を守るため、治水・砂防事業や河川改修・整備などを推進し、安全な地域づくり・住環境づくりに取り組めます。 ○歩行者、自転車利用者の安全を確保するため、歩道などの地域生活の安全対策に努めます。						○地域の交通安全については、住民の交通安全に対する意識の高まりや宅地化による道路環境の変化、区画線などの施設の老朽化により、交通安全施設の設置や修繕の要望が多く寄せられています。		○道路パトロールや交通安全対策協議会などからの要望に伴う点検結果に基づいて、交通安全施設の整備や修繕を行い、歩行者や自転車利用者の安全確保を図る。		現状値 令和6年度 目標値 令和11年度	
<b>基本的方向</b>						<b>現状・課題</b>		<b>具体的施策</b>		<b>まちづくりの指標 (KPI)</b>	
<b>【安全な「かわ・みち」づくり】</b> ○自然災害から市民の生命や財産を守るため、治水・砂防事業や河川改修・整備などを推進し、安全な地域づくり・住環境づくりに取り組めます。 ○歩行者、自転車利用者の安全を確保するため、歩道などの地域生活の安全対策に努めます。						○地域の交通安全については、住民の交通安全に対する意識の高まりや宅地化による道路環境の変化、区画線などの施設の老朽化により、交通安全施設の設置や修繕の要望が多く寄せられています。		○道路パトロールや交通安全対策協議会などからの要望に伴う点検結果に基づいて、交通安全施設の整備や修繕を行い、歩行者や自転車利用者の安全確保を図る。		現状値 令和6年度 目標値 令和11年度	
<b>基本的方向</b>						<b>現状・課題</b>		<b>具体的施策</b>		<b>まちづくりの指標 (KPI)</b>	
<b>【安全な「かわ・みち」づくり】</b> ○自然災害から市民の生命や財産を守るため、治水・砂防事業や河川改修・整備などを推進し、安全な地域づくり・住環境づくりに取り組めます。 ○歩行者、自転車利用者の安全を確保するため、歩道などの地域生活の安全対策に努めます。						○地域の交通安全については、住民の交通安全に対する意識の高まりや宅地化による道路環境の変化、区画線などの施設の老朽化により、交通安全施設の設置や修繕の要望が多く寄せられています。		○道路パトロールや交通安全対策協議会などからの要望に伴う点検結果に基づいて、交通安全施設の整備や修繕を行い、歩行者や自転車利用者の安全確保を図る。		現状値 令和6年度 目標値 令和11年度	

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 06

基本的方向		現状・課題					具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)		
【「オール出雲」での空き家対策】 空き家について、市民意識の醸成、啓発、情報発信に努めるとともに、民間活力を生かした相談体制の充実、利活用の促進を図り、官民一体となった「オール出雲」での空き家対策に取り組みます。	2	3	4	5		○令和2年度空き家実態調査において、市内における空き家は2,652件と推計しています。 ○令和3年度に令和4年度から令和8年度を計画期間とする「第2期出雲市空家等対策計画」を策定しました。 ○専門的知識や経験を有する民間団体と空き家問題に関する連携協定を締結しましたが、相続、登記、不動産売買などが関係し、複雑化する空き家問題について、具体的、効果的、継続的な取組を行うためにも、民間団体と連携を強化し、官民一体となった空き家対策が求められています。	○空き家に係る市民意識の醸成、啓発、情報発信に努めるとともに、空き家問題に取り組む民間団体に対して、協力、支援を行いながら、民間活力を活かした空き家の発生予防、適正管理及び利活用の促進を図り、空き家となる前からの相談体制等の充実を図る。 ○民間活力を活かした空き家対策を実施するため、空き家相談事業といずれも空き家バンク運営事業を民間団体に委託。 ○管理不全な空き家等に対して、所有者による自主的な改善を促すとともに、特に危険な空き家については、空家法などの諸法に基づき、所有者等に対する指導等を強化。	いずも空き家バンク登録物件数	現状値 20件/年	目標値 令和6年度 30件/年 令和11年度 40件/年	
	1	3	4	9	11						13
	SDGsの取組番号	17									

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題					具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
<b>【神話の地～出雲の守り人】</b> 消防・救急・救助力の充実強化を図るとともに、市民の防火・防災意識の向上等に努め、災害に強いまちづくりを推進します。	基本方策の番号	2	3	4	5	○市民への応急手当の重要性や知識及び技術を学ぶ機会として各種講習会を開催しています。また事業所内や市民自らが応急手当を広めていく応急手当普及員として活躍をされています。応急手当の実施率を高め、救急患者の救命率向上につなげていくことが必要です。 ○音声以外の緊急通報の方法として活字による通報 (NET119)、外国語の通報受付体制 (多言語通訳システム) を整えています。現場の状況を早く、リアルタイムに把握することで、迅速な災害対応につなげること、ビデオ通話を使った応急手当の指導を図り入れることなど、技術の発展に伴いツールの拡充を図り、市民とのチャネルを増やしていくことが必要です。	現状値 令和6年度 令和11年度		目標値 令和6年度 令和11年度			
	SDGsの取組番号	17					現状値 令和6年度 令和11年度		目標値 令和6年度 令和11年度			
	<b>基本的方向</b>											
	<b>【地域を守る消防団】</b> 消防団員の処遇改善を図り、団員確保に努めます。また、若者や子どもたちとのふれあいを通じて、地域を守る消防団の必要性などの理解醸成を進めます。											
基本方策の番号 2 3 4 5 17	出雲市消防団条例に定める定員に対する充足率は、年々減少を続けている状況にあり、その背景には、少子高齢化や被用者人口の増加などの社会情勢、また、世帯構成の変化や集合住宅居住者の増加、自治会加入率の低下などの地域環境も大きく関わっています。こうした動向に影響される消防団の将来像を地域全体で検討していくことが必要です。	現状値 令和6年度 令和11年度		目標値 令和6年度 令和11年度								
		<b>具体的施策</b>										
		○第三者や有識者を含めた委員で構成する「出雲市消防団改革推進委員会」を設置し、消防団員確保等及び消防団組織の将来のあり方について検討。 ○出雲市消防団に組織再編を検討する作業部会を設置。										
		<b>まちづくりの指標 (KPI)</b>										

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 07

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)		
<p>【脱炭素のカギを握るのは再生可能エネルギー】</p> <p>○脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者・行政が連携し、太陽光発電、風力発電などの再生可能エネルギーや蓄電池などの導入及び利用を促進します。また、次世代エネルギーである水素エネルギーの導入の可能性を探ります。</p> <p>○可燃ごみ処理施設「出雲エネルギーセンター」のバイオマス発電など地域の再生可能エネルギーを、地域新電力会社「いずも縁結び電力㈱」を通じて市内公共施設へ供給し、エネルギーの地産地消を進めます。</p>	基本方針の番号	1	2	4	5	6	<p>再生可能エネルギーについては、国の固定価格買取制度や市の太陽光発電設備、蓄電池などの補助制度により導入が進んでいますが、2050年のゼロカーボンシティ実現に向けて、取組を加速化する必要があります。そのためは、地域特性を踏まえた再生可能エネルギーの導入目標を設定し、市民・事業者・行政が課題を共有したうえで連携した取組を進めることが必要です。</p> <p>○地域新電力会社「いずも縁結び電力㈱」は、令和4年4月現在で市内138の公共施設へ供給しており、今後は、地域の再生可能エネルギーの調達をさらに進めるとともに、電力の供給先を拡大することが必要です。</p>	<p>再生可能エネルギー設備等の導入支援。</p> <p>○再生可能エネルギーの導入促進に向けた啓発活動の充実。</p> <p>○再生可能エネルギー発電事業者の誘致。</p> <p>○林地残材などバイオマス資源の利活用に向けた取組支援。</p> <p>○公共施設の再生可能エネルギー導入の推進。</p> <p>○地域新電力会社「いずも縁結び電力㈱」の取組。</p> <p>・市内の調達電源及び供給先の拡大</p> <p>・P P A 事業 施設所有者が提供する敷地や屋根</p> <p>※ P P A 事業 施設所有者が提供する敷地や屋根などに太陽光発電設備の所有、管理・保守を行う事業 P A 事業者) が無償設置し、運用・保守を行う事業のこと。</p> <p>○水素関連企業との連携による水素の活用。</p>		<p>現状値</p> <p>令和6年度</p> <p>令和11年度</p>		
	SDGsの取組番号	4	7	9	11	12						13
		14	15	17								
基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)		
<p>【みんなで取り組むCO<sub>2</sub>削減】</p> <p>○市民・事業者・行政が連携し、一体となって省エネルギーなど二酸化炭素排出量削減に向けた取組を推進します。</p>	<p>○2050年ゼロカーボンシティ実現のためには、家庭、事業所等における省エネルギーなどの二酸化炭素排出削減の取組をさらに強化する必要があります。そのため、部門ごと（産業、家庭、業務、運輸）の二酸化炭素排出量削減目標を設定したうえで、市民・事業者・行政による連携した取組が求められます。</p> <p>○出雲市地球温暖化対策協議会や関係機関、地域団体などの様々な活動を通して、市民や事業者への啓発を継続していく必要があります。</p>						<p>家庭、事業所、公共施設の省エネルギー設備の導入促進及び省エネルギー活動の推進。</p> <p>○住宅のZ E H 化、ビルのZ E B 化（壁の断熱化などの省エネ、再エネ導入）の推進。</p> <p>※ Z E H（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）、Z E B（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）快適な室内環境を実現しながら、住宅（建物）で消費するエネルギーをゼロにすることを目指した住宅（建物）のこと。</p> <p>○次世代自動車（EV、P H E V など）の導入促進。</p> <p>○省エネルギー活動の普及拡大に向けた啓発活動の充実。</p> <p>○Jクレジット制度の充実。</p>		<p>現状値</p> <p>令和6年度</p> <p>令和11年度</p>			
	基本方針の番号	1	2	4	5	6						
	SDGsの取組番号	4	7	9	11	12					13	

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 07

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)										
基本方策の番号	1	2	4	5	6	<p>○森林所有者の高齢化や不在村化により森林の管理が出来ず荒廃が進んでいる現状です。</p> <p>○伐期が来ているが、木材の販売収入に対して伐採経費がかさむことから収支計画が立てられない状況です。</p> <p>○山林部の地籍調査が進んでおらず、境界が不明確なため林業が行いつらい状況です。</p>					<p>○航空レーザー計測で収集した樹高や樹齢などの情報を林業事業体へ提供することで、森林経営計画の策定を支援。</p> <p>○航空レーザー計測で収集した情報をリモートセンシング技術による地籍調査に活用することで、森林における境界の確定を推進。</p>		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和11年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		目標値		令和6年度	令和11年度		
	目標値																			
	令和6年度	令和11年度																		
4	7	9	11	12	13															
SDGsの取組番号	14	15	17																	

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【3Rで資源の循環を】 持続可能な循環型社会の形成を推進するため、廃棄物の抑制(Reduce)、再利用(Reuse)、再生利用(Recycle)の取組を市民、事業者、行政の協働により推進します。	基本方策の番号	1	2	4	5	6	○本市では廃棄物の抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)を推進していますが、家庭や事業所から出されるごみの中には、リサイクル可能な資源ごみが含まれています。適正な分別の啓発を行っていく必要があります。 ○リサイクルステーション設置など、市民が廃棄物をより出しやすい環境整備と、分別収集されたものが、どのような製品に生まれ変わるのか市民に分かりやすく示していく必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物の3Rの取組の推進。</li> <li>○家庭、事業所から排出されるごみの適正な分別方法の周知。</li> <li>○ごみ減量化のための情報発信、啓発活動の推進。</li> <li>○民間廃棄物処理事業者との連携による、リサイクルステーション設置など回収拠点の拡大。</li> </ul>	現状値	目標値	
		4	7	9	11	12			13	令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号	14	15	17							
基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【安全安心・快適な生活環境を次の世代へ】 水環境、大気環境など、市民一人ひとりが健康で快適に暮らしているける生活環境確保のための取組を進めます。	基本方策の番号	1	2	4	5	6	水環境、大気環境などについては、県・市で水質や大気汚染物質等を常時観測しており、宍道湖、神西湖の水質など、一部では環境基準に達成していないものもあります。 また、野焼きによる公害苦情も後を絶たない状況です。引き続き、環境汚染状況を監視するとともに、市民への啓発を進めることが必要です。 また、清掃活動などの市民による環境保全活動の一層の推進に向けた取組が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通機関利用促進に向けた啓発。</li> <li>○野外での不法なごみ焼却への指導強化。</li> <li>○水質浄化、排水などに関する啓発活動。</li> <li>○騒音、振動の発生源への監視、指導。</li> <li>○市民による自主的な環境保全活動の推進支援。</li> </ul>	現状値	目標値	
		4	7	9	11	12			13	令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号	14	15	17							

(まちづくりの施策)

基本的方向							現状・課題			具体的施策			まちづくりの指標 (KPI)					
【豊かな自然環境を次の世代へ】 ラムサール条約に登録されている宍道湖など、豊かな自然に恵まれた出雲では、多くの希少な野生動物植物が確認されています。これらの生息生育環境の保全に向けた環境学習の推進と啓発に努めます。							令和2年度の市内主要河川に生息する水生生物調査では、25地区において、全部で107種の水生生物が見つかりました。 また、島根県では水鳥の保護対策の基礎資料とするため、毎年、ガンカモ類の生息調査や一斉渡来状況調査を実施しています。 環境学習の場は、様々な場で展開されており、学習機会の更なる拡充と参加者を増やす取組が必要です。			○環境学習の推進。 ○自然に親しむ体験活動の充実。			現状値			目標値 令和6年度 令和11年度		
基本方策の番号							1	2	4	5	6							
SDGsの取組番号							4	7	9	11	12	13						
基本的方向							現状・課題			具体的施策			まちづくりの指標 (KPI)					
【トキが飛び交う「美しい出雲」を】 出雲の自然を舞台に、トキの野生復帰をめざします。また、トキを環境に配慮したまちづくりのシンボルとし、持続可能な社会の形成に向けて取り組めます。							トキの放鳥を目指す「野生復帰を目指す里地」に選定されたことを受け、本市でのトキの放鳥実現に向け、取組んでいく必要があります。 トキの分散飼育や野生復帰などのトキ保護増殖事業の普及啓発については、トキの一般公開などにより行っていますが、市民の理解は十分に進んでいません。 ○環境保全型農業の普及や里山林の整備など、トキが生息できる自然環境をめざしていく必要があります。			トキの分散飼育については、野生での繁殖行動につながる、自然ふ化自然育すうに取組む。 ○出雲市トキ分散飼育センターやトキ学習コーナーを利用した体験型学習等により、トキ公開施設への誘客を進める。また、出前講座・パネル展示等により、トキ保護増殖事業の啓発を図る。 ○多種多様な生物が生息・生育する豊かな水田をめざし、環境保全型農業など環境にやさしい農業の拡大に取り組む。 ○トキの野生復帰に向け、市内の生息環境調査を行い、必要な自然環境整備に取り組む。			現状値			目標値 令和6年度 令和11年度		
基本方策の番号							1	2	4	5	6							
SDGsの取組番号							4	7	9	11	12	13						

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)												
【世界から「IZUMO」へ】 IZUMOの魅力海外へ発信し、IZUMOの認知度向上を図りながらインバウンド誘客につなげます。	基本方策の番号	1 3 4 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルマーケティングによる戦略的かつ効果的な情報発信。</li> <li>SNSを活用した情報発信。</li> <li>海外旅行会社へのセールスコールや商談による旅行商品造成。</li> <li>受入れ環境の整備。</li> </ul>	外国人宿泊者数												
	SDGsの取組番号	8 9 11 12 14 15														
基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)												
【デジタルプロモーションで出雲旅へいざなう】 動画やSNSなどデジタルを活用した戦略的かつ効果的なプロモーションを展開し、出雲の認知度向上を図りながら国内外からの誘客を図ります。	基本方策の番号	1 3 4 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルマーケティングによる戦略的かつ効果的な情報発信。</li> <li>民間事業者との連携による地域ブランディング。</li> <li>プレスリリース配信。</li> </ul>	観光入込客数												
	SDGsの取組番号	8 9 11 12 14 15														
基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)												
【「来て、観て、泊まって」出雲で満足】 ○「縁結びの聖地」「神話のふるさと」として広く知られ、出雲大社をはじめ、重要文化財に指定された出雲日御碕灯台やジオパークの海岸線、歴史的建造物である須佐神社、伝統的な街なみが残る木綿街道、美しい夕日や海岸線を見ることができている多伎エリア、日本三美人の湯として知られる湯の川温泉、そして「地域が誇る観光スポット」など、出雲の魅力ある観光資源を効果的に組み合わせた取組を展開し、周遊滞在型観光につなげます。 ○国立公園をはじめとする自然・景観や歴史・文化などを生かした体験プログラムの造成を進めます。	基本方策の番号	1 3 4 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>周遊観光タクシー「うさぎ号」の販促強化。</li> <li>自然・景観や歴史・文化などを生かした体験メニューの造成など、着地型旅行商品の造成・充実。</li> <li>賑わい創出及びナイトタイムエコノミーの充実。</li> <li>レンタサイクルを活用した周遊促進。</li> <li>食の魅力を生かした交流人口拡大。</li> </ul>	宿泊者数												
	SDGsの取組番号	8 9 11 12 14 15														
基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)												
基本方策の番号	1 3 4 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>「通過型観光」から「滞在型観光」への転換を図るため、市内周遊を促し、滞在時間の延長、宿泊者増、連泊などに繋がる取組が必要です。</li> <li>冬季の閑散期には、より一層の誘客促進を図ることが必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルマーケティングによる戦略的かつ効果的な情報発信。</li> <li>民間事業者との連携による地域ブランディング。</li> <li>プレスリリース配信。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>1,244人</td> <td>令和6年度</td> <td>20,000人</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>21,000人</td> <td>令和11年度</td> <td>1,250万人</td> </tr> </table>	現状値		目標値		令和6年度	1,244人	令和6年度	20,000人	令和11年度	21,000人	令和11年度	1,250万人
	現状値				目標値											
令和6年度	1,244人	令和6年度	20,000人													
令和11年度	21,000人	令和11年度	1,250万人													
SDGsの取組番号	8 9 11 12 14 15															
基本方策の番号		1 3 4 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>「通過型観光」から「滞在型観光」への転換を図るため、市内周遊を促し、滞在時間の延長、宿泊者増、連泊などに繋がる取組が必要です。</li> <li>冬季の閑散期には、より一層の誘客促進を図ることが必要です。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>58.5万人</td> <td>令和6年度</td> <td>100万人</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>105万人</td> <td>令和11年度</td> <td>105万人</td> </tr> </table>	現状値		目標値		令和6年度	58.5万人	令和6年度	100万人	令和11年度	105万人	令和11年度	105万人
現状値		目標値														
令和6年度	58.5万人	令和6年度	100万人													
令和11年度	105万人	令和11年度	105万人													
SDGsの取組番号	8 9 11 12 14 15															

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【広域観光で楽しむ】 中海・宍道湖・大山圏域観光局や山陰インバウン ド機構といった広域観光連携組織をはじめ、様々な 団体との連携を深め、観光の広域化、多様化への対 応を図ります。	基本方策の番号	1	3	4	6			○観光P Rキャラバンの実施。 ○旅行会社向け商談会及び情報発信。	現状値	目標値	
		8	9	11	12	14	15			令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号	17									
基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【日本遺産で魅力を発信】 日本遺産「日が沈む聖地出雲」のストーリーや構 成文化財を活用し、広く情報発信することで出雲の 魅力ある観光地づくり、出雲のブランド力向上につ ながります。	基本方策の番号	1	3	4	6			○出雲市日本遺産推進協議会により構成文化財を 活用した観光誘客を推進。 ○地域活性化計画における目標と期待される効果を まとめ、「出雲市日本遺産地域活性化計画に係る進 捗状況報告書」を作成し提出。 ○出雲市日本遺産推進協議会事務局の構成員に 出雲観光協会職員を取り込む。 ○出雲市日本遺産推進協議会の事業内容を、構成 遺産の磨き上げ事業から観光誘客事業を中心とした プログラムへ移行。	現状値	目標値	
		8	9	11	12	14	15			令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号	17									

（まちづくりの施策）

基本的方向							現状・課題			具体的施策			まちづくりの指標（KPI）		
【「おもてなし」の環境を整える】 観光施設の維持、機能向上や、宿泊機能の強化、街なみ環境整備をはじめとする観光客の受入環境の整備を図ります。							○大社周辺地域において、旧大社駅保存・修理後の利活用をはじめ、更なる賑わい創出や回遊性を高める「まち歩き」の促進が必要です。 ○その他、市内宿泊を増やす取組を進める上で、受け皿となる宿泊施設の新規開業を促すことが必要です。			○民間事業者と連携した旧大社駅の利活用。 ○大社周辺地域の渋滞対策。 ○宿泊機能強化の推進。			現状値 令和6年度 令和11年度 目標値		
基本方策の番号	1	3	4	6			8	9	11	12	14	15			
SDGsの取組番号	17														
基本的方向							現状・課題			具体的施策			まちづくりの指標（KPI）		
【「おもてなし」の環境を整える】 観光施設の維持、機能向上や、宿泊機能の強化、街なみ環境整備をはじめとする観光客の受入環境の整備を図ります。							街なみ環境整備の事業（建物等修景助成）を行っているところは、大社町の神門通り地区です。			○神門通り地区の建物等修景助成により、住む人、訪れる人が潤いと安らぎを実感できる、門前町にふさわしい景観の保全形成を実施。 助成制度の実施期間：平成23年度～令和7年度			現状値 令和6年度 令和11年度 目標値		
基本方策の番号	1	3	4	6			8	9	11	12	14	15			
SDGsの取組番号	17														

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 09

基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)							
基本方策の番号	3	<p>○UIターナーのニーズが多様化している中、効果的な支援や情報提供等の施策を展開してきました。</p> <p>○今後もUIターナー希望者、特に新婚世帯、子育て世帯、独身UIターナー女性の移住定住を進めるため、各種支援制度を組み合わせながら、より効果的な定住支援となるよう、島根県や（公財）ふるさと島根定住財団などの関係機関と連携しながら施策を進める必要があります。</p>	<p>○UIターナー相談対応（ワンストップサービス）：住まいや仕事、支援制度などの情報を集約し、総合的に情報提供するワンストップサービスを行う。併せて、（公財）ふるさと島根定住財団などと連携し、相談者に対して継続的な対応を行う。また、全国どこからでも相談できるよう、定期的にオンライン相談窓口を開設する。</p> <p>○女性のIターン支援：出雲で夢の実現や出雲暮らしを考える県外の独身Iターン女性の移住を支援し、定住促進を図る。</p> <p>○移住促進住まいづくり助成：住宅の購入・建築に係る固定資産税・都市計画税相当額を助成し、子育て世帯、過疎地域等への移住を促進する。</p> <p>○新婚世帯・子育て世帯のUIターン支援（いずもで新生活応援事業）：民間賃貸住宅の家賃の一部を助成し、新婚世帯・子育て世帯の県外からの移住促進を図る。</p> <p>○過疎地域等への定住促進住まいづくり助成（自然豊かな地域住まいづくり助成事業）：市が指定する自然豊かな地域の住宅リフォーム費用の一部を助成し、当該地域への移住・定住促進を図る。</p>	<p>市への相談や補助金等の利用により定住に結びついたUIターナー件数（年間）</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td>80件/年</td> <td>80件/年</td> </tr> </table>	目標値		令和6年度	令和11年度	80件/年	80件/年	
	目標値										
令和6年度	令和11年度										
80件/年	80件/年										
SDGsの取組番号	3	4	11	17	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td>35件/年</td> <td>35件/年</td> </tr> </table>	目標値		令和6年度	令和11年度	35件/年	35件/年
目標値											
令和6年度	令和11年度										
35件/年	35件/年										

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 09

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<p>【外国人住民が暮らしやすいまちづくり】</p> <p>出雲に住む外国人住民が、健康で安心して安全に暮らすことができるよう、暮らしや働くための環境づくり、子ども・若者支援、災害に備えるための取組などの充実を図ります。</p>		<p>現状・課題</p> <p>○出雲に住む外国人住民を地域社会を構成する一員として受け入れていくという視点に立ち、日本人と同様に行政サービスを享受し安心して生活することができ、環境を整備していくことが必要です。</p> <p>○地域社会やコミュニティ等において必要となる人の交流やつながり、助け合いを促す環境を整備し、多様性と包摂性のある社会を実現することが必要です。</p>		<p>具体的施策</p> <p>○コミュニケーション促進                      ・行政、生活情報の多言語化と情報伝達手段の確保                      ・通訳や翻訳でのICT技術の活用                      ・日本語教室の充実                      ・やさしい日本語の活用促進                      ○安心して暮らせる環境づくり                      ・市役所窓口への翻訳・通訳員配置                      ・多言語による住民相談機会の充実                      ・子ども・若者支援の充実                      日本語指導体制の整備、児童・生徒・保護者への支援                      ・働くための環境整備                      合同企業説明会、事業者向けセミナー、求人情報誌翻訳                      ・健康で生活するための取組                      乳幼児を持つ家族への子育て支援、健康づくりへの支援                      ・災害に備えるための取組                      多言語防災情報、多言語緊急情報、研修会の開催</p>		<p>外国人住民5年定住率</p>	
基本方策の番号	3	4	6	現状値		目標値	
SDGsの取組番号	3	4	11	17	令和6年度	令和11年度	未定
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<p>【人と人との縁を結び「結婚したい」を後押し】</p> <p>○結婚を望む方への支援として、縁結びプロジェクト（男女の出会いの場の創出、結婚支援）に取り組むとともに、結婚相談支援を行います。</p> <p>○若者が結婚、妊娠、出産、子育てへの理解を深め、希望する将来を描けるよう、必要な知識の習得や自身の将来設計について実践的に考える機会を設けます。</p>		<p>現状・課題</p> <p>○平成28年度から県内でも早い段階で結婚相談員「婚活サポートマネジャー」を配置し、結婚を希望する独身男女を対象としたセミナーや出会いの場の創出を行ってきました。</p> <p>○また、島根はつびいこーでいねーたー（通称：はびこ）と連携し、はびこによる男女の引き合わせ等につなげています。</p> <p>○今後とはびこ等関係団体と連携しながら、結婚を希望する男女のニーズに合った支援に取り組む必要があらわれます。</p>		<p>具体的施策</p> <p>○男女の出会いの場の創出：県外在住者との出会いの場を創出するなど広域での取組を進める。                      ○結婚相談支援：結婚お世話役である島根はつびいこーでいねーたと連携し、結婚相談支援を行う。                      ○市民の結婚機運醸成：結婚を望む独身男女はもちろん、若年層、支援者、独身男女の親御さんのニーズに合ったイベントやセミナーを行い、市全体で結婚に対する機運を高める。</p>		<p>婚活デザイン講座開催数</p>	
基本方策の番号	3	4	6	現状値		目標値	
SDGsの取組番号	3	4	11	17	令和6年度	令和11年度	3回/年

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【対話を通じたまちづくり】 市民の意識や動向を的確に把握するため、対話と交流を重視したきめ細やかな広聴活動を展開し、市政への反映を図ります。	3	4	6	○市政への意見箱「市政提案」をはじめ、市長との各種ミーティングの開催により市民との対話を行うほか、パブリックコメントにより市民等から広く意見や情報を求め、市政運営の参考としています。 ○更に、市政への参画の機会を増やし広聴の機会拡大を検討し、市民が市政への参画意識が高まるよう努めます。	○市政への意見・提案（広聴活動）の機会の維持・充実 ・市長とまちづくりミーティング ・市長とふれあいミーティング ・市長の訪問ミーティング	現状値	目標値
	3	4	11				
基本方策の番号							
SDGsの取組番号							

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 10

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<p>【国内外を結ぶ出雲緑結び空港】</p> <p>○出雲緑結び空港を発着する国内及び国際空港路線の開設により、新たなネットワークを構築するとともに、山陰のハブ空港となるよう更なる利用促進に努めます。</p> <p>○出雲緑結び空港と周辺地域の調和に配慮し、安全・安心な環境が保たれるよう取組を進めます。</p>		<p>現状・課題</p> <p>○出雲緑結び空港は国内8路線を有し、平成30年度には空港開設以来初めて年間利用者100万人を突破しました。しかしながら、令和2年3月以降、新型コロナウイルスの影響を受け、利用者が激減しています。今後は、各種利用促進活動のほか、将来的な運用時間の延長、1日あたりの発着枠の増加に向けた動きに合わせ、国内路線の充実及び国際路線の開設に向け、関係機関に対して働きかけが必要です。</p> <p>○空港周辺地域においては、空港の利便性が高まる反面、航空機による騒音等による負担が増えています。空港周辺地域の安心・安全な生活環境が保障されるよう、島根県と連携し、地域住民に配慮した対応を行います。</p>		<p>具体的施策</p> <p>(利用促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民、県民への路線PR (利用啓発)</li> <li>○利用が低迷する路線の搭乗費助成の拡充</li> <li>○国内定期路線の増便、ダイヤ改正 (要望活動)</li> <li>○国内新規路線の開設 (要望活動)</li> <li>○国際チャーター便、定期便の誘致活動 (周辺対策)</li> <li>○騒音対策等の各種補助事業の実施</li> <li>○生活環境の改善 (地元要望対応)</li> <li>○出雲空港周辺対策協議会との連携、協議</li> </ul>		<p>現状値</p> <p>目標値</p> <p>令和6年度</p> <p>令和11年度</p>	
<p>基本的方向</p> <p>【線路がつなぐ旅と暮らし】</p> <p>出雲と大都市圏とを結ぶ基幹的交通として、また地域住民の生活交通として重要な役割を果たすJRの利用促進を図るとともに、高速化やアクセス時間短縮等の利便性の向上に資するため新幹線開通への取組を進めます。</p>		<p>現状・課題</p> <p>○島根県鉄道整備連絡調整協議会に参画し、利用促進事業やJRへの要望活動を行っています。近年は利用者数が落ち込んでいる状況です。</p> <p>○新幹線については、中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議等により、関係自治体等とともに、国や国会議員への要望や機運醸成を図るための啓発活動を行っています。</p>		<p>具体的施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の生活基盤を守るため、沿線自治体等と連携し、利用促進事業や、使いやすいダイヤ・路線の確保に向けた取組を実施。</li> <li>○早期の新幹線整備実現に向けて、関係自治体等と連携し、地域全体の機運醸成を図るとともに、地元への熱意を国へ届ける。</li> </ul>		<p>現状値</p> <p>目標値</p> <p>令和6年度</p> <p>令和11年度</p>	
基本方策の番号	1	2	3	4	6		
SDGsの取組番号	8	9	11	17			

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 10

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【賑わう出雲河下港に】 出雲河下港の沖防波堤完成により静穏度が向上し、安定利用が可能となる利点を生かし、広くポータルセーブルスに取り組みます。		○沖防波堤が令和4年度完成予定となり、静穏度が確保され年間を通じた安定荷役作業が可能となりま す。 ○主に貨物の移出入港として利用されており、近年、取扱入出貨物は年間17万トン程度で推移してい ます。 ○物流、防災面での更なる機能強化のため、次期整 備を見据えた利活用策を検討しています。 ○河下港臨海工業団地への進出に向けたポータルセー ブルスを実施しています。		○利活用策に必要なハード整備の県への働きか け。 ○産業振興を図るための拠点港としての利活用。 ○防災拠点港としての機能強化。 ○港周辺の賑わいの創出。		現状値 令和6年度 令和11年度 目標値	
基本方針の番号 1 2 3 4 6 8 9 11 17		SDGsの取組番号					
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【魅力ある「みち」づくりをブッシュする】 高速道路ネットワークの早期構築に向け、「出 雲・湖陵道路」、「湖陵・多伎道路」の整備促進と ともに新たなスマートインターチェンジの設置をめ ざします。		○山陰道の整備促進について、国は、出雲・湖陵道 路、湖陵・多伎道路の開通予定を令和6年度と示さ れました。 ○スマートインターチェンジについては、平成23年度 に検討した経緯があり、その時点では、地形上多額な 事業費が必要となることから、設置は難しいとの判 断になりました。その後は議論があまりありませんでしたが、山 陰自動車道の県西部への延伸により利便性が高まっ てきたことや、負担軽減を図った事例が出てきたことなど から、令和3年度に山陰道スマートインターチェンジ整 備促進議員連盟が発足し、再度整備に向けて取り組 むこととなりました。		○山陰道については、引き続き整備促進を図るへ要 望。 ○スマートインターチェンジについては、国土交通省から 助言を受けながら、本市における地域振興に資するス martインターチェンジの必要性を整理し、整備に向け た検討を実施。		現状値 令和6年度 令和11年度 目標値	
基本方針の番号 1 2 3 4 6 8 9 11 17		SDGsの取組番号					
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【8の字ルートの「みち」づくり】 中海・宍道湖・大山圏域において、産業、観光な どあらゆる分野のポテンシャルの発揮と災害時の避 難や輸送経路の確保等を見据え、人流、物流の基盤 となる高規格道路「境港出雲道路」（8の字ルー ト）の整備をめざします。		○高規格道路境港出雲道路の整備促進について、 令和3年度に本道路の一部である松江北道路が新 規事業化されました。 ○令和3年度に国の計画である「防災・減災、国土 強靱化に向けた道路の5年対策プログラム」におい て境港出雲道路がミッシングリンクに位置付けられまし た。		○境港出雲道路の未整備区間について、圏域におけ る8の字状の高規格道路ネットワークの早期完成のた め、島根県に対して、国と連携を図りながら整備される よう要望。		現状値 令和6年度 令和11年度 目標値	
基本方針の番号 1 2 3 4 6 8 9 11 17		SDGsの取組番号					

(まちづくりの施策)

基本的方向							現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<p><b>【広域連携でスケールミットを最大限に発揮】</b></p> <p>○中海・宍道湖・大山圏域を「あたかも一つのまち」として、観光、産業及び環境分野を柱とした各種事業に取り組みほか、交通ネットワークの整備・拡充を進め、住みたくなる圏域づくりをめざします。</p> <p>○近隣自治体との連携をより一層深め、相互の特徴や資源を有効活用することで、相乗効果を発揮する取組を展開します。</p>							<p>&lt;中海・宍道湖・大山圏域市長会&gt;</p> <p>○産業振興においては、圏域内外からの外貨獲得に向け、圏域内企業の支援のほか、海外展開を促進する事業を一つの柱として実施してきました。今後引き続き、圏域内企業の経済活動を活性化し、圏域を越え、首都圏や近畿圏等の大消費地、海外で圏域の物産が消費されることをめざす必要があります。</p> <p>○観光振興においては、圏域観光局を設立したことで、圏域が一体となったより効果的、効果的な観光事業を展開することができました。今後は、様々な旅行スタイルに対応するために、圏域が一体となった受入れ体制を整備し観光消費を高めていく必要があります。</p> <p>○交通ネットワークについては、様々な連携を通じ、空港、港、高速道路等を圏域発展に生かすことが共通認識されるなど、県境を越えた一体感が醸成されています。8の字ルートや新幹線等の圏域インフラ整備を促進し様々な面で圏域のポテンシャルを高め、効果的な人口減少抑制対策の検討を進めていく必要があります。</p>		<p>&lt;中海・宍道湖・大山圏域市長会&gt;</p> <p>○国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成</p> <p>・東アジアをはじめ世界に向けたゲートウェイ機能の更なる活用</p> <p>・インド（ケララ州）・台湾（台北市）との経済交流の拡大</p> <p>・圏域の特徴ある資源の活用と産業の発展</p> <p>・国内及びインバウンド観光の推進</p> <p>○未来をひらく交通ネットワークの形成</p> <p>・「8の字ルート」等の早期完成</p> <p>・重要港湾・境港の利便性向上</p> <p>・新幹線ネットワークの整備</p> <p>・航空路線の充実</p> <p>○恵まれた生活環境を生かした圏域の形成</p> <p>・圏域への移住・定住の促進</p> <p>・自然環境の保全と活用</p> <p>・健康長寿圏域の形成</p> <p>・圏域内公共交通の利便性向上</p>		<p>現状値</p> <p>目標値</p> <p>令和6年度</p> <p>令和11年度</p>	
<p>基本方策の番号</p> <p>1 3 5 6</p> <p>4 11 14 15 17</p>							<p>&lt;出雲の國・斐伊川サミット&gt;</p> <p>○文化、観光など様々な分野の交流・連携を図ることにより、圏域の発展をめざす必要があります。</p> <p>特に、トロッコ列車「興出雲おろち号」の運行終了後の圏域観光振興を検討する必要があります。</p>		<p>&lt;出雲の國・斐伊川サミット&gt;</p> <p>○広域観光PR事業の推進</p> <p>○イベントの共同PR・共同実施</p> <p>○トロッコ列車「興出雲おろち号」の運行及び活用 (R5まで)</p>		<p>SDGsの取組番号</p>	

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
【ジオパークが大地と人とのつながりを伝える】 鳥根半島・宍道湖中海ジオパークの推進活動を 通じて、「大地と人のつながり」を地域住民 など多くの人に伝えることで、自分たちが暮ら す地域に誇りを持ち、この地域を守っていくと いう意識を高めます。	1	3	5	6	【現状】 ○松江市や関係団体と連携し、日本ジオパーク認定 後の4年間で、拠点施設を整備し情報発信機能が 向上しました。 ○大学、民間団体やコミュニティセンターによるジオパー ク活動を展開し、地域コミュニティとの協働が進みまし た。 ○2021年10月に日本ジオパークネットワーク初のオン ラインによる全国大会開催を通して、関係者のジオ パークに対する理解を深めました。 【課題】 ○早急に基本計画及び安全管理計画を見直し管 理運営を強化することで、ジオパーク活動の更なる質 的向上を目指します。 ○中長期的には、ジオパークエリア全域を対象に、本 市の課題である宿泊を伴う滞在型観光への転換の足 がかりとし、体験型プログラムや周遊プランなどソフト面 での充実につなげ、観光による地域経済の活性化を 図っていきます。			現状値		目標値		令和6年度	令和11年度
	4	11	14	15				17	現状値	目標値			
SDGsの取組番号													
基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
【国際交流で「IZUMO人」を育てる】 中高生の海外姉妹都市等との相互派遣を実施し、 国際感覚を身につけ、国際化社会に対応できる人材 の育成を進めます。	○地域の国際化の推進のため、本市はサンタクララ市 (アメリカ)、漢中市(中国)、エビアン市(フラン ス)、カラキ市(フィンランド)、ダンレアリー・ラスタウ ン市(アイルランド)の5都市と国際姉妹友好都市を 結び交流を展開しています。 ○市内には多くの民間国際交流団体があり、それぞれ が個性的な活動を行っています。 ○国際化社会に対応できる人材の育成を目指し、民 間国際団体と連携して多様な国際交流活動を行うこ とが必要です。						現状値		目標値		令和6年度	令和11年度	
	1	3	5	6	現状値	目標値							
SDGsの取組番号	4	11	14	15	17								

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 11

基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)	
【国内交流で出雲ファンを増やす】 ○経済・文化・スポーツ・観光など幅広い分野での交流を創出することで、市民交流への拡大をめざします。 ○津山市及び諫早市との友好交流は、全国的にも数少ない三市による交流であるため、締結50周年に向けて交流拡大をめざします。	1	津山市及び諫早市との交流 3市間での職員の相互派遣や共通する行政課題について調査・研究を行い、その解決に向けた取組を行っています。	○友好交流都市相互職員派遣事業 ○三市友好交流都市まちづくり会議の開催	現状値	目標値
	4	○桜井市、琴平町、田辺市、東吾妻町、豊中市との交流 麵、温泉、空港を通じた交流			
基本方策の番号	1				
SDGsの取組番号	4	11	14	15	17

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【出雲のルーツを探り、学び伝える】 滅失の危機にある古文書や民具、遺跡などの文化財調査を、関係機関・市民等と協力・連携して持続的に進めます。また、令和15年(2023)を迎える風土記編さん1300年に向けた取組として、風土記に関する調査研究を進めます。	2	3	5	6	○「文化財保存活用地域計画」に基づく事業の進捗管理及び推進 ○古文書・民具等の保管場所の整理・確保 ○市史の将来的な編さんに向けた古文書悉皆調査の計画策定と着手 ○講習会の開催等による文化財調査協力員の知識向上 ○風土記関連遺跡を含めた史跡範囲確認調査の実施	現状値	目標値
	4	17				令和6年度	令和11年度
SDGsの取組番号							
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【出雲の財（たから）を未来へつなぐ】 文化財建造物や考古資料等の指定文化財を良好に維持していくため、適切な時期に保存修理を行います。また、国史跡等については、保存活用計画の策定と史跡整備を進め、良好な保存活用を図ります。	2	3	5	6	○指定文化財の所在・現況確認調査の計画的な実施 ○各史跡の保存活用計画を策定し、公有地化、指定範囲の追加、史跡整備により、良好な保存管理と活用を図る。 ○適切な周期で文化財建造物等の保存修理事業の実施・支援を行う。(日御崎神社鳥居保存修理、須佐神社本殿保存修理)	現状値	目標値
	4	17				令和6年度	令和11年度
SDGsの取組番号							

(まちづくりの施策)

基本的方向							現状・課題			具体的施策			まちづくりの指標 (KPI)						
【いにしへの出雲を魅せる】 博物館展示や講座等の開催のほか、発掘調査成果を情報発信することで、文化財が持つ価値や魅力を伝えます。また、出雲弥生の森博物館を中心に、展示研究を進め、資料収集を強化し、博物館機能の充実を図ります。							2	3	5	6	○出雲弥生の森博物館内で、年間を通じて次の事業を行っています。 常設展示・企画展・ギャラリー展・スポット展・速報展・市民ギャラリー・講座・体験教室 ○館外活動として、次の事業を行っています。 市民学習等講師派遣・ふるさと歴史学習派遣・市外講師派遣・ショッピングモールでの展示 ○荒神谷博物館を指定管理制度により運営、また展示事業を委託しています。 ○新型コロナウイルスの影響で、出雲弥生の森博物館及び荒神谷博物館の入館者数が減少している状況です。			○出雲弥生の森博物館及び荒神谷博物館を継続して運営			現状値 令和6年度 令和11年度		
基本的方向							現状・課題			具体的施策			まちづくりの指標 (KPI)						
【過去と未来を結ぶ人を育てる】 文化財の担い手、文化財関係団体等を支援・育成し連携して保存活用を推進するとともに、無形民俗文化財等の継承者育成のため、発表機会の提供等の支援を行います。また、歴史体験学習などのふるさと学習を推進します。							2	3	5	6	○神楽など伝統民俗芸能の保存継承のため、「出雲市無形文化財連絡協議会」を組織しています。 ○無形文化財のPRと保存継承を図るため、「出雲市無形文化財発表会」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度、令和3年度は中止となりました。 ○ふるさと歴史学習を実施しています。			○引き続き「出雲市無形文化財連絡協議会」により、神楽等の保存継承の支援を行う。 ○新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら「出雲市無形文化財発表会」を実施する。また、動画やSNSによる情報発信を行う。 ○ふるさと歴史学習「平和学習」の実施体制を整え、今後も継続して実施する。			現状値 令和6年度 令和11年度		
基本方策の番号							2	3	5	6	現状値			目標値					
SDGsの取組番号							4	17			現状値			目標値					

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)													
<p><b>【子育てしやすい環境をつくる】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○あらゆる子育て世帯をサポートするため、仕事と子育てが両立しやすい環境づくりや、経済的負担の軽減、孤立感の緩和、外国籍保護者へのサポート、親子のきずなづくりなど、安心して楽しく子育てができる環境を整えます。</li> <li>○子どもを望む夫婦が不妊・不育症治療を受けやすい環境を整備します。</li> </ul>		<p>現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育所や児童クラブの拡充を図っているが、入会未決定が生じている状況です。</li> <li>○保育所の国基準での待機児童ゼロを継続することが課題です。</li> <li>○子どもの医療費助成は、中学生まで完全無料化を望む声があり、検討していきます。</li> <li>○親子の成長を支え、子育て家庭を応援する環境づくりに努めていく必要があります。</li> <li>○特別な支援が必要な子どもへの保育の充実を図ることが必要です。</li> </ul>		<p>具体的施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育所、児童クラブ、ファミリーサポート、病児・病後児保育等による保護者の就労支援。</li> <li>○保育料や副食費の減免及び医療費助成の実施、ひとり親家庭をはじめとする各種手当の支給等による経済的負担軽減。</li> <li>○子育て支援センターでの交流や不安解消。</li> <li>○ポルトガル語通訳・翻訳員の配置など、幼稚園、保育所、子育て支援施設等を利用する外国籍園児及び保護者への支援。</li> <li>○特別な支援が必要な子どもの幼稚園、保育所受け入れ支援。</li> </ul>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p>													
<p>基本方策の番号</p> <table border="1"> <tr> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> </table>		4	5	6				1	3	4	5	10	11			<p>現状値</p>		<p>目標値</p>	
4	5	6																	
1	3	4	5	10	11														
<p>SDGsの取組番号</p> <table border="1"> <tr> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		17								<p>令和6年度</p>		<p>令和11年度</p>							
17																			

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 13

基本的方向							現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<b>【子育てしやすい環境をつくる】</b> ○あらゆる子育て世帯をサポートするため、仕事と子育てが両立しやすい環境づくりや、経済的負担の軽減、孤立感の緩和、外国籍保護者へのサポート、親子のきずなづくりなど、安心して楽しく子育てができる環境を整えます。 ○子どもを望む夫婦が不妊・不育症治療を受けやすい環境を整備します。							○母子健康包括支援センターにおいて、支援を要する家庭が産後に必要な支援が受けられるよう、産前から支援体制の構築を行いました。 ○育児不安の軽減に向け、全戸訪問や産後ケア事業、親支援グループ等各種教室や子育てサポーターの育成・配置などを行いました。さらに産前産後の負担軽減のため家事育児支援体制の整備が必要です。 ○乳幼児健康診査の実施、歯や食事・メディア等基本的な生活習慣の学習の機会を提供を行いました。さらに、思春期の学習の機会及び思春期の居場所を提供しました。 ○妊産婦健康診査実施や不妊・不育症治療費助成等の経済的負担の軽減等に努めました。		○乳幼児健康診査を通じた支援の充実。 ○産前産後支援の各種事業の実施。 ○不妊治療への支援。		①不妊治療費助成制度利用（申請）件数 ②不育症治療費助成制度利用（申請）件数	
基本方策の番号	4	5	6				現状値	目標値	令和6年度	令和11年度		
SDGsの取組番号	17			1	3	4	5	10	11	17	10	11
<b>基本的方向</b>							<b>現状・課題</b>		<b>具体的施策</b>		<b>まちづくりの指標 (KPI)</b>	
<b>【子ども・若者を地域で育て、見守る】</b> ○地域における見守り活動や、体験・交流活動の充実に向けた支援に努めます。 ○関係機関の連携により、不登校、ひきこもり、ヤングケアラー（日常的に家族のケアをする子ども）などの困難を抱える子ども・若者の支援の充実を図ります。							○支援が必要と思われる子どもの増加により、医療機関や療育等の待機期間が長期化しています。 ○困難を抱える家庭の背景には、複合的な課題があり、関係機関と連携した支援や啓発に取り組む必要があります。		○巡回相談や発達クリニック、年中児発達相談などの幼児発達支援。 ○児童虐待相談等への関係機関と連携した対応、虐待防止やヤングケアラー等の啓発。		①92.2%②90.0%③100%④99.0%	
基本方策の番号	4	5	6				現状値	目標値	令和6年度	令和11年度		
SDGsの取組番号	17			1	3	4	5	10	11	17	10	11

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 13

基本的方向		現状・課題 (まちづくりの施策)						まちづくりの指標 (KPI)	
<p><b>【子ども・若者を地域で育て、見守る】</b>                      ○地域における見守り活動や、体験・交流活動の充実に向けた支援に努めます。                      ○関係機関の連携により、不登校、ひきこもり、ヤングケアラー（日常的に家族のケアをする子ども）などの困難を抱える子ども・若者の支援の充実を図ります。</p>		<p><b>現状・課題</b>                      ○困難を抱える子ども・若者の相談支援を行いました。                      ○地域での見守り活動への支援や子どもの体験・交流活動の充実に向けた取組を行いました。</p>						<p><b>具体的施策</b>                      ○相談内容に応じた、関係機関の紹介その他情報の提供及び助言。                      ○地域での見守り活動や体験・交流活動の充実に向けた支援。</p>	
<p>基本方策の番号</p>		4	5	6				<p>現状値</p>	
<p>SDGsの取組番号</p>		17	1	3	4	5	10	11	<p>目標値</p>
									<p>令和6年度</p>
									<p>令和11年度</p>

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)	
【ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を】 ○事業所（働く場）でのワーク・ライフ・バランスの推進やダイバーシティワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の実現に向けた啓発を行います。	基本方策の番号	1 4 5	○第4次「出雲市男女共同参画のまちづくり行動計画」（平成29～令和3年度）に基づき、取り組みました。 ○ワーク・ライフ・バランスについては、事業所への出前講座を実施し、出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議においても啓発を行いました。 ○市民意識調査では、ワーク・ライフ・バランスの認知度は66.1%、女性が仕事を続けやすい状況とした人が31.3%となり、いずれも前回調査より増えましたが、目標値には届きませんでした。働き方改革を含め、事業所へのワーク・ライフ・バランス推進の啓発を一層進めていく必要があります。	ワーク・ライフ・バランス研修実施事業所数	
	SDGsの取組番号	5 8 10 11 17		現状値 令和6年度 令和11年度	
				8回 (R3年度)	目標値 令和6年度 令和11年度
				ワーク・ライフ・バランスの認知度	20事業所 (4年間累計) (R8年度目標)
				現状値 66.1% (R2.10月調査)	70% (R8年度目標)
基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)	
【ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を】 ○市民が性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画のまちづくりを進めます。	基本方策の番号	1 4 5	○人材の育成と参画の促進。 ○職場（働く場）における男女共同参画意識の点検・見直し。 ○農林水産商工業、自営業者等における取組の支援。	職場において男女が平等であると感じている人の割合	
	SDGsの取組番号	5 8 10 11 17		現状値 令和6年度 令和11年度	
				39.8% (R2.10月調査)	目標値 令和6年度 令和11年度
				女性が仕事を続けやすいと感じている人の割合	50% (R8年度目標)
				現状値 31.3% (R2.10月調査)	40% (R8年度目標)

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 15

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【生涯現役の社会をつくる】 高齢者が能力や経験を生かして就業したり、地域を支える活動の担い手として活躍できるように、様々な社会参加を促し、一人ひとりが役割や生きがいを持って暮らすことのできる社会づくりを進めます。	基本方策の番号	1	4	5	6	8	○高齢者の雇用の確保は、「若年労働者の雇用の安定等に関する法律」において、事業主に対し65歳までの安定した雇用確保措置が義務付けられており、令和3年4月からはその年齢を70歳に引き上げること努力義務となっています。 ○令和元年度から令和3年度まで「出雲市生涯現役促進協議会」を組織し、事業所化働く意欲のある高齢者のマッチングなど様々な取組を行い、一定の成果を得ました。協議会の成果を生かし、引き続きシルバー人材センターにおいて高齢者の就業促進に取り組めます。 ○シルバー人材センターの会員は70歳代が多く、会員数は近年増加傾向にあるものの、1,000人弱と60歳以上人口の約1.5%となっています。 ○高齢者一人ひとりが、その価値観やライフスタイルに応じて就業や地域活動などさまざまな場面で活躍し続けることができる環境づくりを、より一層推進していく必要があります。	現状値		目標値	
	SDGsの取組番号	10	11	14	17			令和6年度	令和11年度		
基本的方向	現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)		
【健康管理をし、健康寿命を延ばす】 健康診断やがん検診の受診勧奨により、自己管理を支援し、疾病の早期発見、早期治療につなげます。	基本方策の番号	1	4	5	6	8	○地域の関係機関や団体との連携を図り、地域ぐるみの健康づくり活動を推進しました。健康への意識を高め、主体的な健康づくりに取り組めるよう、継続した取組が必要です。 ○特定健診では、医療機関の協力のもと案内期間後の受入れや休日健診を実施し、受診機会を確保しました。対象者は受診券送付と受診状況に応じた通知などによる受診勧奨を行いました。更なる受診率向上が必要で、健康相談をはじめ健康管理や生活習慣病予防を図るため、健康相談をはじめとする保健サービスの提供を行いました。 ○がん検診では、検診受診率及び精検受診率向上を図るため、関係機関、団体等と連携し、がん検診の周知をするとともに、市のホームページやSNS、防災無線等を積極的に活用しました。 ○申込みがしやすいよう、各種集団健診（検診）において、しなめ電子申請システムを導入しました。	現状値		目標値	
	SDGsの取組番号	10	11	14				令和6年度	令和11年度		
		*がん検診受診率 ①胃がん検診（40～69歳） ②大腸がん検診（40～69歳） ③乳がん検診（40～69歳） ④子宮がん検診（20～69歳） ⑤縮核・肺がん検診（40～69歳）						現状値		目標値	
		①2.3%②24.9% ③40.5%④39.3% ⑤3.8%						令和6年度		令和11年度	
		①10%②50% ③60%④70% ⑤10%						令和6年度		令和11年度	

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状、課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
基本方策の番号	【「食」から豊かな人生を】 市民が主体的に食に関心を持ち食育を実践で きるよう、関係団体と協働して、食に関する取 組を展開するとともに、食の地産地消を進めま す。	<p>○食を通じて心身の健康づくりと豊かな人間性の育みを進めるため、子どもから高齢者のライフステージに沿った食育の啓発、教室を行いました。</p> <p>○出雲市食のホフテア連絡協議会に食生活改善事業を一部委託し、地域における食育を進めています。</p> <p>○食の関係団体と連携して、食育キャンペーン等を行っています。</p> <p>○引き続き、減塩や野菜摂取など生活習慣病予防のための食生活改善が必要です。</p>						<p>○ライフステージに沿った食を通じた心身の健康づくりの推進。</p> <p>○地域における食育の推進。</p> <p>○食の関係団体と連携した取組、情報発信。</p>		現状値	目標値
	1	4	5	6					令和6年度	令和11年度	
	10	11	14	17							
SDGsの取組番号											

(まちづくりの施策)

基本的方向							現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)																									
<p><b>【多様な価値観を認め、人権意識を高める】</b></p> <p>○市民一人ひとりが人権の意義や重要性を理解し、相手の立場に立って行動できるよう幼児から高齢者まで、生涯を通じた人権教育・啓発を推進し、同問題をはじめとする全ての差別解消に努めます。</p> <p>○国籍、性別、性的指向、性自認、年齢、障がいの有無などに関わらず、一人ひとりの個性、価値観などが大切にされ、共に生き、支え合う地域社会の実現をめざします。</p>							<p>現状・課題</p> <p>○出雲市人権施策推進基本方針に基づき、学校や家庭、職場、地域など、あらゆる場において人権教育・啓発を推進してきました。</p> <p>○今後も継続して、人権意識の向上を図る必要があります。</p> <p>○また、社会状況等の変化に伴う、新たな人権課題をふまえた対応も必要になります。</p>		<p>具体的施策</p> <p>○各種研修会の実施</p> <p>○あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進</p> <p>○様々な人権課題への対応</p> <p>○推進体制の整備</p>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p> <table border="1"> <tr> <th>現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		現状値	目標値			令和6年度	令和11年度																		
現状値	目標値																																			
	令和6年度	令和11年度																																		
<p><b>基本的方向</b></p> <p><b>【多様な価値観を認め、人権意識を高める】</b></p> <p>○国籍、性別、性的指向、性自認、年齢、障がいの有無などに関わらず、一人ひとりの個性、価値観などが大切にされ、共に生き、支え合う地域社会の実現をめざします。</p>							<p>現状・課題</p> <p>○第4次「出雲市男女共同参画のまちづくり行動計画」(平成29～令和3年度)に基づき、取り組みました。</p> <p>○市民意識調査では、固定的性別役割分担意識に肯定的な人の割合は女性より男性の方が高く、男女ともに年代が上がると高くなる傾向にあります。しかし、10代は男女ともに肯定的な人は0%になるなど、若い世代の男女共同参画意識は定着してきています。</p> <p>○市民意識調査では、家庭、職場、地域で男女の立場が平等と感じている人は、それぞれ少しずつ増えてきていますが、家庭と地域においては、男性が優遇されている、若しくはどちらかといえば優遇されていると答えている人が半数以上を占めています。</p>		<p>具体的施策</p> <p>○家庭における男女行動参画意識の点検・見直し</p> <p>○地域における男女行動参画意識の点検・見直し</p> <p>○教育現場における男女共同参画意識の点検・見直し</p> <p>○学校(園)教育における取組の支援</p> <p>○性別役割分担意識の解消</p> <p>○メディアによる男女共同参画に関する啓発</p>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">性別による役割分担意識に否定的な人の割合</th> </tr> <tr> <th>現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td>71.7% (R2.10月調査)</td> <td>令和6年度 80% (R8年度目標)</td> <td>令和11年度 未定</td> </tr> <tr> <td colspan="3">家庭において男女が平等であると感じている人の割合</td> </tr> <tr> <th>現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td>39.7% (R2.10月調査)</td> <td>令和6年度 50% (R8年度目標)</td> <td>令和11年度 未定</td> </tr> </table> <p>地域社会において男女が平等であると感じている人の割合</p> <table border="1"> <tr> <th>現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <td>38.7% (R2.10月調査)</td> <td>令和6年度 50% (R8年度目標)</td> <td>令和11年度 未定</td> </tr> </table>		性別による役割分担意識に否定的な人の割合			現状値	目標値		71.7% (R2.10月調査)	令和6年度 80% (R8年度目標)	令和11年度 未定	家庭において男女が平等であると感じている人の割合			現状値	目標値		39.7% (R2.10月調査)	令和6年度 50% (R8年度目標)	令和11年度 未定	現状値	目標値		38.7% (R2.10月調査)	令和6年度 50% (R8年度目標)	令和11年度 未定
性別による役割分担意識に否定的な人の割合																																				
現状値	目標値																																			
71.7% (R2.10月調査)	令和6年度 80% (R8年度目標)	令和11年度 未定																																		
家庭において男女が平等であると感じている人の割合																																				
現状値	目標値																																			
39.7% (R2.10月調査)	令和6年度 50% (R8年度目標)	令和11年度 未定																																		
現状値	目標値																																			
38.7% (R2.10月調査)	令和6年度 50% (R8年度目標)	令和11年度 未定																																		

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
<p>【多様な価値観を認め、人権意識を高める】</p> <p>○DV (ドメスティック・バイオレンス) は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、その予防と被害からの回復のための取組を推進し、暴力の根絶をめざします。</p>	基本方策の番号	1	2	3	4	5	6	<p>○男女間の暴力を根絶する環境づくり</p> <p>○配偶者等からの暴力防止及び被害者の支援</p> <p>○DV防止に向けた予防・啓発</p> <p>○DV被害者に配慮した相談の実施</p> <p>○DV被害者の自立支援</p>	<p>DV防止研修会参加人数</p> <p>現状値</p> <p>356人 (R3年度)</p> <p>400人</p> <p>400人</p> <p>目標値</p> <p>令和6年度</p> <p>令和11年度</p>	<p>12回/年</p> <p>12回/年</p> <p>12回/年</p> <p>12回/年</p> <p>12回/年</p>			
	SDGsの取組番号	11	16	17							現状値	13回 (R3年度)	12回/年
											現状値		
基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
<p>【多様性を認めあい、みんなでつくる～多文化共生～】</p> <p>国籍や言語、文化、価値観の多様化が進む中で、日本人住民と外国人住民が、相互にコミュニケーションを促進し、お互いを認め合い、多様性を生かしながら、安心して暮らせるまちづくりをみんなが進めます。</p>	基本方策の番号	1	2	3	4	5	6	<p>○地域社会での多文化共生の意識啓発</p> <p>多文化共生のための文化交流事業等の開催支援</p> <p>多文化共生の意識啓発事業・研修会等の開催</p> <p>○地域社会への参加促進</p> <p>外国人住民の町内会 (自治会) や地域活動等への参加促進</p> <p>○相互理解の推進</p> <p>日本文化や外国文化をお互いに学ぶ機会の提供</p> <p>多文化共生のまちづくりの担い手(団体) の育成</p> <p>○行政・民間団体相互の連携の強化</p>	<p>○多文化共生の地域づくりを進めるためには、外国人差別や偏見をなくし、国籍にかかわらずお互いに理解しよとす意識づくりが必要です。</p> <p>○外国人が地域で孤立することなく、その能力を地域で発揮して地域づくりに参加できるような環境づくりが必要で</p> <p>○多文化共生の必要性を理解し、地域で実践する人を増やすための取組が必要です。</p> <p>○多文化共生のまちづくりは、全庁的な取組とともに公的機関、市民団体、町内会(自治会)、企業及び市民が連携・協働して取り組むことが必要です。</p>	<p>現状値</p> <p>目標値</p> <p>令和6年度</p> <p>令和11年度</p>			
	SDGsの取組番号	11	16	17							現状値		

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<p>【多様性を認める社会の実現～リージョナルイノベーション～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○建築物、道路、公園のバリアフリー化の促進や啓発により、障がい者や高齢者をはじめ全ての人が安心して快適に暮らし、社会参加することができるまちづくりを推進します。</li> <li>○全ての人が「障がい」への理解を深め、障がいのある人もない人も、共に生き、支え合う地域社会の実現をめざし、啓発活動を推進します。</li> </ul>	1	2	3	4	5	6	
	1	2	3	4	5	10	
	SDGsの取組番号	11	16	17			
<p>基本方策の番号</p>		1	2	3	4	5	6
<p>現状値</p>				目標値			
<p>令和6年度</p>				令和11年度			

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【誰もが自分らしく活躍できる社会を～地域共生社会～】 複雑化、複合化する福祉ニーズに対応できる総合相談体制の強化や、地域住民や関係団体等との連携・協働により、誰もが役割と生きがいを持ち、自分らしく活躍できる地域共生社会の実現をめざします。	2	4	5	6	〇複雑化・複合化した課題を抱える地域住民について寄り添った支援を行うために「出雲市福祉総合相談支援事業」を実施し、関係機関が情報共有し、個々のニーズに沿った福祉サービスを提供できる体制を整備。 〇高齢や障がいにより判断能力が十分でない場合も自らの権利が守られ、自立した生活が尊重されるために、いずも権利擁護センターや出雲成年後見センターと連携し、成年後見制度の理解と利用の促進を図る。	現状値	目標値
	1	3	10	11		17	令和6年度
SDGsの取組番号							
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【障がい者の自立と社会参加を支える】 障がい者等が自らの意思決定にもとづき、地域の構成員として暮らし続けられるよう、福祉サービス等の提供体制や地域の支援体制を整備します。	2	4	5	6	〇出雲市障がい者計画及び出雲市障がい福祉計画に基づき、地域生活を希望する障がい者が地域の暮らしを維持することができるよう、障がい福祉サービスの基盤整備や利用支援のほか、「地域生活支援拠点（ささえ愛サポート）」を整備しました。 〇障がい者が地域の一員として安心して自立した生活を送るためには、地域生活への移行や地域生活の継続の支援に加え、社会参加をさらに促進するための就労支援が必要です。 〇あわせて、障がい者がその人らしく、地域住民と共に暮らせる社会づくりにむけて、障がいに対する理解や生活環境の整備も必要です。	現状値	目標値
	1	3	10	11		17	令和6年度
SDGsの取組番号							

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)																	
<p><b>【高齢者の暮らしを支える】</b>                      ○高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護関係者の連携を深め、地域包括ケアを推進します。                      ○健康づくり、介護予防、交流の場の立ち上げを支援するとともに、参加を促します。                      ○認知症への理解を深め、認知症の人やその家族への見守り、支援につなげます。                      ○身近なつながりの中で、高齢者の困りごとを手伝う、支え合いの体制づくりを進めます。                      ○高齢者が必要な介護サービスを受けられるよう、介護サービス基盤の整備を進めるとともに、ICTやロボットなどの最新技術の活用を推進し、介護人材不足の解消に努め、サービス提供体制の維持を図ります。</p>		<p><b>現状・課題</b>                      ○第1次出雲市在宅医療・介護連携推進基本計画(令和3年3月)や出雲市入退院連携ガイドライン(令和3年3月)を策定し、医療・介護関係者と情報共有しながら、連携深化を図り、地域包括ケアを推進しています。                      ○「通いの場」の立ち上げや、高齢者ふれあいサロンにおける体操等の実施に向け、運動指導士の派遣等の積極的関与により、介護予防を推進しています。                      ○認知症ケア推進のため、出雲市認知症高齢者支援強化検討会において関係者の意見を聴きながら、理解促進や相談支援の体制づくりを進めています。                      ○たすけあい活動の立ち上げを支援し、身近な支え合いを促し、生活支援につなげています。                      ○将来の介護需要を見据えた基盤整備と、介護人材不足解消のための重点的な取組が必要です。</p>		<p><b>具体的施策</b>                      ○ICT活用や情報連携方法の検討による在宅医療・介護関係者の連携促進と業務の効率化の支援                      ○ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の実践等による本人・家族の望みに近い介護の実現                      ○「通いの場」の周知、啓発による団体及び参加者の増加並びに運動指導士の派遣等による活動の活性化                      ○認知症介護に関わる専門職と連携した相談体制の拡充                      ○認知症への地域の理解の一層の促進                      ○地域におけるたすけあい活動の積極的な広報と団体の立ち上げに向けた伴走支援の実施                      ○介護人材の確保、定着に係る施策を継続して推進</p>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		現状値	目標値		令和6年度	令和11年度											
現状値	目標値																						
	令和6年度	令和11年度																					
<p><b>基本的方向</b></p> <p><b>【高齢者の暮らしを支える】</b>                      同上</p>		<p><b>現状・課題</b>                      ○将来の介護需要を見据えた基盤整備と、介護人材不足解消のための重点的な取組が必要です。</p>		<p><b>具体的施策</b>                      ○介護人材の確保、定着に係る施策を継続して推進。</p>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		現状値	目標値		令和6年度	令和11年度											
現状値	目標値																						
	令和6年度	令和11年度																					
<p><b>基本方策の番号</b></p> <table border="1"> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		2	4	5	6	1	3	10	11														
2	4	5	6																				
1	3	10	11																				
<p><b>SDGsの取組番号</b></p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																							

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)																		
<p><b>【質の高い効率的な医療の提供】</b></p> <p>○出雲医療圏において医療機関の機能分化・連携強化を推進するとともに、持続可能な質の高い効率的な医療提供体制の充実に取り組みます。</p> <p>○総合医療センターにおいては、引き続き、救急医療や予防医療を提供するとともに、高度急性期病院の後方支援や在宅医療を推進します。</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本方策の番号</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SDGsの取組番号</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	基本方策の番号	2	4				SDGsの取組番号	3	11	17			<p>現状・課題</p> <p>○本市に集積する高度急性期医療を担う病院と、在宅医療・介護を切れ間なくつなげるよう、入退院連携ガイドラインを策定するなどして、連携推進を図っています。</p> <p>○総合医療センターでは、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリを開始し、令和4年4月には24時間の訪問看護・往診が可能な在宅医療体制を確保しました。</p> <p>○心臓ドック、すい臓がんドックやブリアム乳がん検診を開始し、早期治療につながる予防医療の取組を強化しています。</p> <p>○感染防止対策を図りながら、新型コロナウイルス感染症に対応した検査・診療を行い、地域住民が必要とする医療提供を行っています。</p> <p>○休日・夜間診療所は、出雲医師会、島根大学医学部との連携のもと、日曜・祝日等と平日夜間（小児科のみ）の初期救急医療を担っています。</p>		<p>具体的施策</p> <p>○急性期・回復期・慢性期医療の提供と在宅医療の更なる推進。</p> <p>○予防医療の充実。</p> <p>○新興感染症に備えた平時からの対応。</p> <p>○休日・夜間診療所は、引き続き関係機関と連携し運営。</p>		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> </table>		現状値	目標値		令和6年度	令和11年度
		基本方策の番号	2	4																				
		SDGsの取組番号	3	11	17																			
現状値	目標値																							
	令和6年度	令和11年度																						
<p><b>【質の高い効率的な医療の提供】</b></p> <p>○市立診療所においては、関係機関との連携のもと、医療過疎地での医療や休日・平日夜間における初期救急医療の提供体制を確保し、市民が適切な医療を受けることができるよう安定的に運営します。</p>	<table border="1"> <tr> <td>基本方策の番号</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SDGsの取組番号</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	基本方策の番号	2	4				SDGsの取組番号	3	11	17			<p>現状・課題</p> <p>○中山間地域等の医療過疎地に設置する診療所では、引き続き地域の医療需要に対応できる診療体制を維持していく必要があります。</p> <p>○中山間地域において訪問診療を行う医療機関や訪問看護ステーションに対して、県補助金を活用した補助金を交付し、在宅医療の提供を支援しています。</p>		<p>具体的施策</p> <p>○中山間地域における医療提供体制については、診療所の安定的運営に加え、県補助金を活用した補助金の交付により訪問診療・訪問看護の実施を支援</p>		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> </table>		現状値	目標値		令和6年度	令和11年度
		基本方策の番号	2	4																				
		SDGsの取組番号	3	11	17																			
現状値	目標値																							
	令和6年度	令和11年度																						
<p><b>基本的方向</b></p>		<p>現状・課題</p>		<p>具体的施策</p>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p>																		

(まちづくりの施策)

基本的方向							現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【中山間地域に新たな風を】 うみ・やま (中山間地域) 応援センターに地域支援員を配置し、地域おこし協力隊員とともに、中山間地域の支援及び活性化を図ります。また、様々な地域課題の解決に向け、地域のサポート体制を強化します。	基本方策の番号	1	2	3	4	5	6	○4つの行政センターに地域支援員及び地域おこし協力隊員を配置しました。 ○集落応援隊の派遣により集落の維持活動への支援を行いました。	○新たな地域おこし協力隊員の募集。 ○既存の地域おこし協力隊員の市内定住・起業に向けた支援。 ○地域支援員による集落点検チェックシートの作成。 ○集落応援隊の派遣。	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	11	15	17							令和6年度	令和11年度
基本的方向							現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【中山間地域のポテンシャルを生かす】 自然豊かな中山間地域の魅力を生かした企業立地の支援や、キャンプやグランピングなどのアウトドア、滞在型観光施設など、中山間地域の持つポテンシャルを生かしたツアー造成などで、交流人口を増やし、地域の活性化を図ります。	基本方策の番号	1	2	3	4	5	6	○中山間地域のソフト産業のオフィス開設への支援を行っている。 ○多くの観光客が出雲大社に一極集中し、そのまま通過しているのが現状です。 ○一方、トレッキングやサイクリングなどのアウトドア需要が高まっています。アウトドアの着地型旅行商品の提供によって市内の自然豊かな中山間地域を回遊させ、滞在時間延長を図り、宿泊につなげることが必要です。	○日御碕サテライトオフィスへのソフト産業誘致 ○自然を生かした体験メニューの造成など、着地型旅行商品の造成・充実 ○誘客プロモーションの実施 ○国立公園の滞在環境等の整備	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	11	15	17							令和6年度	令和11年度

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【安心して住み続けられる中山間地域を】 ○地域農業を支える担い手の確保・育成や課題解決に向けた自発的な取組の支援により、中山間地域活性化を図り、地域コミュニティの維持につなげます。 ○有害鳥獣対策による農地等の被害防止、市道の防草対策と支障木（通行の妨げになる木）の伐採による通行の安全性向上に努めます。	基本方策の番号	1	2	3	4	5	6	○うみ・やま支援施策検討会議において、より具体的な施策を横断的に検討。	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	11	15	17						令和6年度	令和11年度
基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【安心して住み続けられる中山間地域を】 ○地域農業を支える担い手の確保・育成や課題解決に向けた自発的な取組の支援により、中山間地域活性化を図り、地域コミュニティの維持につなげます。	基本方策の番号	1	2	3	4	5	6	○中山間地域等直接支払や多面的機能支払交付金を活用して農用地保全等に取り組んでいる集落協定や活動組織に対し、更新期に事業継続に向けての情報提供やアドバイス等の支援を実施。また、集落協定に対しては集落戦略の策定を促す。 ○農村型地域運営組織（農村RMO）等が主体となっていく、農業・農村の維持、地域課題の解決に向けた自発的な取組に対して、情報提供やアドバイス等の支援を実施。 ○作業の効率化、省力化に向け、中山間地域でのスマート農業を美証するとともに、現地見学会を開催し、広くPRすることによって普及につなげる。	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	11	15	17						令和6年度	令和11年度
基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【安心して住み続けられる中山間地域を】 ○有害鳥獣対策への支援による農地等の被害防止や市道の防草対策と支障木の伐採による通行の安全性の向上に努めます。	基本方策の番号	1	2	3	4	5	6	○道路の除草は、その大半が地域のボランティア活動に支えられています。市は特に作業範囲が大きい中山間地域において、その活動に対し、助成金を交付しています。しかしながら、近年は過疎化や高齢化により、活動の継続が困難になりつつあります。 ○また、山間部の道路において、見通しの確保など安全な通行のために支障木の伐採の要望が多く寄せられています。	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	11	15	17						令和6年度	令和11年度

(まちづくりの施策)

基本的方向						現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)		
【地域の「かわ・みち」づくりで生活を豊かに】 ○利便性の向上に向けて国道及び県道の整備を国及び県に強く要望するほか、市道及び生活道路の整備を進め、安全で利便性の高い幹線道路網の構築と生活環境の改善を図ります。	2	3	4	5		○国道9号出雲バイパスをはじめとする市内幹線道路沿線地域において、商業施設の新規出店や工業団地への工場の新設・増設等、沿線地域の発展に伴い、慢性的な渋滞が発生しています。 ○また、現在、新工業団地を造成中であり、今後より一層交通量の増加が見込まれるため、国道及び県道の改良整備を推進する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国道及び県道の改良整備、交通安全施設整備等を強く働きかけ、慢性的な渋滞の解消と交通安全対策を図るとともに、各地域間の移動時間の短縮による地域間交流の促進を図る。</li> <li>・国道9号出雲バイパス全線4車線整備</li> <li>・国道9号(都市計画道路神戸橋神西沖線)4車線整備</li> <li>・国道9号(神西小入口交差点以西)歩道整備</li> <li>・国道184号(乙立地内)改良整備</li> <li>・国道431号(東林木バイパス～県道十六島直江停車場線間)歩道整備</li> <li>・主要地方道斐川一畑大社線改良整備</li> <li>・主要地方道出雲三刀屋線改良整備</li> <li>・主要地方道大社日御碕線災害防除</li> <li>・一般道遠坂今市線歩道整備</li> <li>・一般道斐川上島線改良整備</li> <li>・一般道大社立久恵線改良整備</li> <li>・一般道三刀屋佐田線改良整備</li> <li>・一般道出雲平田線改良整備</li> <li>・一般道出雲寺線改良整備 ほか</li> </ul>	現状値	目標値	令和6年度	令和11年度	
	6	9	11	12	15			17	現状値	目標値	令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号											
基本的方向						現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)		
【地域の「かわ・みち」づくりで生活を豊かに】 ○利便性の向上に向けて国道及び県道の整備を国及び県に強く要望するほか、市道及び生活道路の整備を進め、安全で利便性の高い幹線道路網の構築と生活環境の改善を図ります。 ○橋梁、トンネル等の長寿命化を図るため、計画的な予防保全を進めます。	2	3	4	5		○幹線市道整備は、多額の予算や長期に渡る事業期間を要することから、「幹線市道整備10か年計画」に基づき、計画的かつ着実に事業を推進する必要があります。 ○橋梁やトンネル等の道路構造物について、5年に1回の近接目視による法定定期点検を実施し、健全度の診断を行っています。定期点検結果に基づき「出雲市公共施設等総合管理計画」の策定及び更新を行い、計画的かつ着実に予防的な修繕等を実施する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幹線市道整備は、平成30年度～令和9年度を計画期間として策定した「第2次幹線市道整備10か年計画」に基づき、限られた予算の中で効率的・効果的な道路整備になるよう進めます。また、令和10年度からは「第3次幹線市道整備10か年計画」を策定し、引き続き道路整備を進めます。</li> <li>○橋梁、トンネル等の長寿命化は、当面は、早期措置段階である「健全度Ⅲ」の解消を優先的に実施し、早期に措置を講じるよう進めます。健全度Ⅲの対策が一段落した段階で、予防保全段階である「健全度Ⅱ」と判定された施設について、予防保全段階での管理をめざします。</li> </ul>	現状値	目標値	令和6年度	令和11年度	
	6	9	11	12	15			17	現状値	目標値	令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号											

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題					具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
<p><b>【地域の「かわ・みち」づくりで生活を豊かに】</b></p> <p>○利便性の向上に向けて国道及び県道の整備を国及び県に強く要望するほか、市道及び生活道路の整備を進め、安全で利便性の高い幹線道路網の構築と生活環境の改善を図ります。</p> <p>○重要な生活基盤である排水路について、計画的に改良整備を実施するとともに、地域間の整備水準の均衡を図り、快適な生活環境づくりを推進します。</p>	基本方策の番号	2	3	4	5	<p>まちづくりの指標 (KPI)</p> <p>現状値</p> <p>目標値</p> <p>令和6年度</p> <p>令和11年度</p>						
	SDGsの取組番号	6	9	11	12						15	17
	<p>基本的方向</p>											
<p><b>【住まいを整える】</b></p> <p>公営住宅等の計画的な大規模修繕・建替事業により、住生活の「質」の向上を図るとともに、市民ニーズに応じた整備により、市民が安心して暮らせるセーフティネット住宅の提供に努めます。</p>	基本方策の番号	2	3	4	5	<p>まちづくりの指標 (KPI)</p> <p>現状値</p> <p>目標値</p> <p>令和6年度</p> <p>令和11年度</p>						
	SDGsの取組番号	6	9	11	12					15	17	
	<p>基本的方向</p>											

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 20

基本的方向		現状・課題	具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)	
【上下水道で快適な生活を支える】 ○新規水源の開発、耐震化などによる災害に強い強い強 靱な施設を構築し、安全で安心な水の安定供給を図 ります。 ○汚水処理の未普及解消に向け、公共下水道事業及 び合併処理浄化槽の効率的就計画的な整備を進め るとともに、施設の長寿命化を図ります。	2	○全国的に大規模な災害が頻発する中、安全で安 定した水を供給できるよう、施設の耐震化や老朽化対 策が必要となっています。  ○国全体の下水道整備が完了に近づき、本格的な 更新の時代を迎えることから、以前より国から公共下 水道整備の早期の完了を求められています。こうした 要請の中、令和9年度以降の整備を予定している区 域においては、既に合併処理浄化槽が多く設置され ている現状です。	○安全で安定した水源の確保 ○水道施設の耐震性能の向上 ○老朽化した施設の計画的更新  ○流域関連公共下水道事業の計画的推進 ○出雲市汚水処理施設整備計画（概成計画）の 見直し ○長寿命化の推進	現状値	目標値
	6			令和6年度	令和11年度
基本方策の番号	3	4	5		
SDGsの取組番号	9	11	12	15	17

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題					具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)		
【利便性と癒しの都市空間を】 ○市の中心部にある老朽化や用途廃止した公共施設等について、機能の集約化、再配置及び整備を行い、市民の利便性の向上を図ります。	<p>○本市の中心市街地には、市役所をはじめとした多数の公共施設等が所在しています。その中には、老朽化したこどもホーム、北部庁舎及び社会福祉センターや、用途廃止した出雲体育館、出雲ホールといった施設等もあり、対応が必要となっている状況です。</p> <p>○一方で、長期間、専用の施設がない状態の乳幼児健診の会場など、市民の利便性向上の観点から、その対応が必要な機能も存在します。</p> <p>○こうした現状を踏まえ、中心市街地だけでなく、市全体における位置づけを考慮しながら、「公共施設の機能の集約・再配置・整備」と跡地の有効活用について、幅広い検討が必要となり、令和4年6月議会において、市の方針（案）を示しました。</p>	<p>【方針（案）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 旧出雲体育館解体後の跡地 新複合施設（仮称）総合市民センターを整備、集約化し、市民サービスの向上を図る。 （集約する機能：社会福祉協議会、健診センター、国際交流センター、子ども・若者支援センター、少年センター、ポランティアセンター、教育支援センター、子ども安全センター、その他外部団体）</li> <li>2 北部庁舎解体後の跡地 防災機能のある広場（公園）として整備。</li> <li>3 旧出雲ホール解体後の跡地 隣接する今市小学校の校地に取り込み、当面駐車場として整備。</li> <li>4 北本町西公園（こどもホーム所在地） こどもホームの機能移転後に解体し、全体を北本町西公園として再整備。</li> <li>5 その他 市役所書庫、公用車駐車場（旧出雲市役所跡地）、出雲交流会館、産業支援センターについては、別途検討。</li> <li>6 社会福祉センター跡地 社会福祉センター機能移転後に、建物所有者の（社福）出雲市社会福祉協議会と解体に向けた協議を検討。解体後は、ふさわしい利活用を検討。</li> </ol> <p>【スケジュール等の考え方】 当面は、今市小学校の北校舎の改築工事との整合性を図るため、旧出雲ホールの解体工事を先行。新複合施設（仮称）総合市民センター、北部庁舎跡の整備等については、新体育館整備などの公共施設の整備の進捗を見ながら、整備手法、財源確保など課題を整理したうえで、整備時期を検討。</p>					現状値	目標値	令和6年度	令和11年度	
		基本方策の番号	2	3	4	5					
SDGsの取組番号	6	9	11	12	15	17					

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題					具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【利便性と癒しの都市空間を】 ○老朽化した平田及び斐川行政センターは、建設後相当年数が経過しており、老朽化により外壁の剥離や雨漏りなどがみられるとともに耐震性にも問題があります。 ○地域における行政サービスの拠点及び災害時における防災拠点として十分な機能が果たせるよう庁舎の整備が必要です。	2	3	4	5		○平田行政センターは、同様に老朽化が著しい平田コミュニティセンターとの複合施設として整備し、エントランスや会議室、トイレなどについて施設の相互利用を可能とする効果的な整備を実施。合わせて避難所としての防災機能を廃止した平田勤労青少年ホームが有していた集会機能などを補完する多目的棟を整備。 ○斐川行政センターは、耐震性に問題のない西館に必要な面積を増築し庁舎を整備。また、廃止の方針となっている斐川文化会館が有している市民文化活動・集会機能、防災機能などを補完するため、多目的棟を整備。 ○平田及び斐川行政センターは、Z E B化に向けた取組として、省エネに配慮した設計とし、太陽光発電設備を整備。	令和6年度	令和11年度		
	6	9	11	12	15		17			
SDGsの取組番号										
基本的方向		現状・課題					具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【利便性と癒しの都市空間を】 ○幹線街路を計画的に整備し、中心市街地の整備を進めます。また、出雲市駅付近連続立体交差事業(第二期区間)の実現に向けた取組を実施します。 ○公園・緑地が持つ多くの機能を十分に発揮でき、安心して利用できるような、適切な維持管理及び再整備、修繕に努めます。	2	3	4	5		○幹線街路の整備については、現在2路線(医大前新町線、高砂町渡橋線)の整備を行っています。なお、整備未着手の路線については、施行中の路線の整備状況を見ながら着手時期を検討します。 ○出雲市駅付近連続立体交差事業(第二期区間)は、第一期区間完了後約20年経過しており、実施に向けては新規事業の取り扱いとなるため国の事業採択の条件はかなり厳しい状況です。 ○公園・緑地の整備については、面積の基準を満たしているが、公園施設の老朽化等による遊具や施設等の改修が喫緊の課題です。	令和6年度	令和11年度		
	6	9	11	12	15		17			
SDGsの取組番号										
基本的方向		現状・課題					具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【利便性と癒しの都市空間を】 ○地籍調査事業について、国・関係団体等の各種事業を積極的に活用し、一層の地域連携を図りながら事業を着実に推進します。	2	3	4	5		○第7次国土調査事業十箇年計画及び出雲市財政計画に沿って、社会資本整備の円滑化、防災安全対策や森林保全等を目的に、毎年度着実に事業に取り組んでいます。 ○現事業体制の中では、事業の効率化や進捗率の向上を図るための有効手段が見いだせず、大幅な進捗アップをめざすことは困難であり、課題となっています。	地籍調査事業進捗率			
	6	9	11	12	15		17	令和6年度	令和11年度	55%
SDGsの取組番号										

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 20

基本的方向		現状・課題					具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
<b>【みんなのための地域内交通】</b> ○活力ある地域づくりのため、バス路線の維持を含め、持続可能な新たな交通システムの構築に努めます。 ○貴重な生活路線であり観光振興の要となる一畑電車は、事業者の更なる経営努力と国・県・沿線市の適切な支援により、路線の維持・充実に努めます。	基本方策の番号	2	3	4	5	○運行補助・委託によりバス路線の維持を図るとともに運行サービスの改善を行いました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少や外出控えもあり利用者数の減少が続いています。 ○一畑電車に対しては、一畑電車沿線地域対策協議会を通じた支援により、運行維持と利便性の向上を図りました。その結果、平成29年度以降は目標を達成していましたが、令和2年度は目標を大きく下回りました。	○令和4年度に策定する「地域公共交通計画」により、市民ニーズに対応したサービスの提供、また持続可能な公共交通網の構築をめざす。 ○一畑電車沿線地域対策協議会が策定した支援計画に基づき、支援の継続と利用者数回復に向け取り組む。	現状値	令和6年度	令和11年度		
	SDGsの取組番号	6	9	11	12			15	17	目標値		
<b>基本的方向</b>		<b>現状・課題</b>					<b>具体的施策</b>		<b>まちづくりの指標 (KPI)</b>			
<b>【グリーンステップC谷を生かす】</b> 斐伊川放水路事業残土処理場（グリーンステップC谷）の整備について、自転車競技場など地域の発展につながる利活用の整備方針を示すとともに、周辺の整備も進めます。	基本方策の番号	2	3	4	5	○現在県事業の残土処分場用地として利用されています。 ○令和12年度に第8回国民スポーツ大会の自転車競技場として利用することが決まりました。今後は、地域の発展や定住促進につながるよう周辺整備を含めた利活用方針を定め、整備を行うこととなります。	○斐伊川神戸川治水事業（県） ○国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備室と連携しながら、自転車競技場及び周辺の整備を進める。	現状値	令和6年度	令和11年度		
	SDGsの取組番号	6	9	11	12			15	17	目標値		
<b>基本的方向</b>		<b>現状・課題</b>					<b>具体的施策</b>		<b>まちづくりの指標 (KPI)</b>			
<b>【出雲らしい景観を守りぬく】</b> ○地域の景観要素を生かしながら、道路や公園、建築物など都市施設の景観整備を推進します。 ○大規模な建築物・工作物の建設などに対し、ゆるやかな規制・誘導を図り、市民・事業者の協力を得ながら、良好な景観を形成していきます。 ○出雲地域独自の自然・歴史的景観資源である築地松について、県とともに保全、PRに努めます。	基本方策の番号	2	3	4	5	○公共建築物、道路、公園等の景観整備について、出雲市公共事業等景観形成指針により、景観に配慮した整備を行っています。 ○景観形成上、影響の大きい建築物・工作物の届出を求め、色彩計画や緑化等の規制・誘導で、良好な景観の形成を図っています。 ○築地松散居景観について、県と共に、築地松の維持管理費の助成や、広報紙の発行・イベントを開催するなど、保全、PRに努めています。	○引き続き、出雲市公共事業等景観形成指針により、公共建築物、道路、公園等の景観整備を推進。 ○景観形成について、市民や事業者の理解を得られるよう、丁寧に説明をすとともに、景観形成の必要性について市民の意識が高まるよう、周知を実施。 ○引き続き、築地松散居景観の適切な保全と、SNSなど、IT技術も活用し、積極的なPRに取り組む。	現状値	令和6年度	令和11年度		
	SDGsの取組番号	6	9	11	12			15	17	目標値		

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 21

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)																													
<p><b>【市民サービスのデジタルファースト】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年齢、性別、国籍、居住する地域等に関わらず、市民が自身にとって最適なサービスを、簡単に利用できるようになります。</li> <li>○サービスデザイン思考を取り入れた施策立案を行い、市役所の業務改革を進め、迅速で効率的な行政運営を実現します。</li> </ul>		<p>○行政手続のオンライン化について、未実施のものが多く、実施に向けた検討が必要です。</p> <p>○行政手続のオンライン申請に必要なマイナンバーカードの交付率が4割程度です。</p> <p>○市役所の業務は、年々、量・種類ともに増加・複雑化しており、その処理に多く時間を要しています。</p>						<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政手続のオンライン化の推進と利用件数の向上</li> <li>○マイナンバーカードの申請機会の拡大</li> <li>○マイナンバーカードの付加価値創出についての国への働きかけ</li> <li>○庁内業務の効率化（電子決裁の導入、ペーパーレス化への環境整備、AI・RPA等を活用した業務プロセスの最適化）</li> </ul>		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		現状値	目標値		令和6年度	令和11年度																							
現状値	目標値																																						
	令和6年度	令和11年度																																					
<p><b>基本的方向</b></p>		<p>○業務実施やサービス提供において、分野ごとのデジタル技術の導入にはばつきがあります。</p> <p>○地域全体でデジタル技術の恩恵を享受するために、デジタル基盤の整備として、携帯電話の不感エリアの解消、高速通信網の整備・充実が不可欠です。</p>						<p><b>具体的施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各分野におけるデジタル化の推進において、費用対効果を検証し、優先順位を定めて効率的な取組を実施</li> <li>○携帯電話の不感エリアの解消及び5G等の高速通信網の整備・充実について国や事業者への働きかけ</li> </ul>		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		現状値	目標値		令和6年度	令和11年度																							
現状値	目標値																																						
	令和6年度	令和11年度																																					
<p><b>【まちづくりのデジタルファースト】</b></p> <p>防災・福祉・医療・都市形成・交通、教育等のあるゆる分野でデジタル技術を効果的に活用することで利便性を高め、市民がいきいきと暮らすことのできるまちを実現します。</p>		<table border="1"> <tr> <td>基本方策の番号</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>SDGsの取組番号</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td></td> </tr> </table>						基本方策の番号	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	SDGsの取組番号	7	8	9	10	11	12		13	14	15	16	17		<p><b>まちづくりの指標 (KPI)</b></p>			
基本方策の番号	1	2	3	4	5	6																																	
	1	2	3	4	5	6																																	
SDGsの取組番号	7	8	9	10	11	12																																	
	13	14	15	16	17																																		
<p><b>基本的方向</b></p>		<table border="1"> <tr> <td>基本方策の番号</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>SDGsの取組番号</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td></td> </tr> </table>						基本方策の番号	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	SDGsの取組番号	7	8	9	10	11	12		13	14	15	16	17		<p><b>具体的施策</b></p>			
基本方策の番号	1	2	3	4	5	6																																	
	1	2	3	4	5	6																																	
SDGsの取組番号	7	8	9	10	11	12																																	
	13	14	15	16	17																																		

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<p><b>【産業・観光のデジタルファースト】</b></p> <p>○規模や業種を問わず、デジタル技術を活用して柔軟な働き方や生産性の向上に取り組み、事業者を増やします。</p> <p>○行政・民間ともに、市民本位・顧客本位の発想のもと、デジタル技術とマーケティングの手法を効果的に活用し、定住人口、交流人口、関係人口の増加をめざします。</p>	<p><b>現状・課題</b></p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大がきっかけとなり、テレワークやオンライン会議など、時間や場所を問わない働き方が浸透し、地方と都市部との格差は縮小しつつあります。</p> <p>○コロナ禍を契機とした地方回帰の動きを好機と捉え、デジタル技術を積極的に取り入れた情報発信やシンディセールスを行うことが必要です。</p> <p>○地域課題の解決や新たなサービスの創出に必要な各種データが、十分に提供できていません。</p>						<p><b>具体的施策</b></p> <p>○AI/ICT等を活用した事業所等への支援を実施</p> <p>○動画やSNSなどデジタルを活用した戦略的・効果的なデジタルプロモーションを実施</p> <p>○事業者等と連携した市保有データのオープンデータ化</p>		<p><b>まちづくりの指標 (KPI)</b></p>		
	<p>基本方策の番号</p>	1	2	3	4	5	6	<p>現状値</p>		<p>目標値</p>	
	<p>SDGsの取組番号</p>	7	8	9	10	11	12	令和6年度	令和11年度		
<p><b>基本的方向</b></p>		<p><b>現状・課題</b></p> <p>○官民一体となって地域課題の解決と価値創造の促進をめざす「官民共創」の取組が必要です。</p> <p>○市民、事業者及び市職員のデジタル化に対する意識を高め、デジタルリテラシーの向上が必要不可欠です。</p> <p>○デジタル化の推進にはIT人材確保・育成が必要です。</p> <p>○高齢者等デジタル技術に不慣れな人への対応が必要で</p>						<p><b>具体的施策</b></p> <p>○デジタルリテラシー向上のための、職員研修の実施や民間向けセミナーの開催</p> <p>○島根大学と連携したデータ利活用の促進につながる取組の実施</p> <p>○地元企業や大学等とも連携したプログラミング教室の実施</p> <p>○高齢者向けスマートフォン教室の実施</p> <p>○デジタル機器の操作に不慣れな人に操作方法等を教えることができる人材を育成し、地域で教えることのできる仕組みづくり</p>		<p><b>まちづくりの指標 (KPI)</b></p>	
<p><b>【ともにデジタルファースト】</b></p> <p>○官民が共通の目標を持ち、互いの強みを生かしながら地域課題の解決と価値創造を促進し、デジタルを活用した出雲発のイノベーション創出を図ります。</p> <p>○市民、事業者及び行政が、デジタル化に対する意識を高め、ともにデジタルファーストを牽引できる人材の育成を推進します。</p> <p>○デジタル技術に不慣れな人にも寄り添いながら、人にやさしいデジタル化に努めます。</p>	<p><b>現状・課題</b></p> <p>○官民一体となって地域課題の解決と価値創造の促進をめざす「官民共創」の取組が必要です。</p> <p>○市民、事業者及び市職員のデジタル化に対する意識を高め、デジタルリテラシーの向上が必要不可欠です。</p> <p>○デジタル化の推進にはIT人材確保・育成が必要です。</p> <p>○高齢者等デジタル技術に不慣れな人への対応が必要で</p>						<p><b>具体的施策</b></p> <p>○デジタルリテラシー向上のための、職員研修の実施や民間向けセミナーの開催</p> <p>○島根大学と連携したデータ利活用の促進につながる取組の実施</p> <p>○地元企業や大学等とも連携したプログラミング教室の実施</p> <p>○高齢者向けスマートフォン教室の実施</p> <p>○デジタル機器の操作に不慣れな人に操作方法等を教えることができる人材を育成し、地域で教えることのできる仕組みづくり</p>		<p><b>まちづくりの指標 (KPI)</b></p>		
	<p>基本方策の番号</p>	1	2	3	4	5	6	<p>現状値</p>		<p>目標値</p>	
	<p>SDGsの取組番号</p>	7	8	9	10	11	12	令和6年度	令和11年度		

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【質の高い教育で学力アップ】 教員の研修会や学校訪問指導などで「質の高い授業への改善」を図り、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現して、学力向上を図ります。	4	5	6	○「質の高い授業への改善」は、児童生徒の学力向上に必要な要素であることから、引き続き、教育指導員を各学校に派遣し、組織的な授業改善について指導助言を行う。 ○学習指導要領の柱として示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり・授業改善のために、市として重点的に取り組んでいる「めあてと振り返りを意識した授業スタンダード」の普及・定着、改善等をテーマとした学力向上研修講座の開催、各校における授業づくり・授業改善に資する啓発資料の作成、発行等を実施していく。	現状値	目標値	
	2	4	10			17	令和6年度
基本方策の番号							
SDGsの取組番号							
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【ICT機器の活用で新たな学びのスタイルを】 「いずもGIGAスクールプラン」に基づき、児童生徒1人1台のタブレット型パソコンや大型モニターなどのICT機器を効果的に活用しながら、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。	4	5	6	○タブレット型パソコンや大型モニターなどを多様な学びに活用するとともに、学習支援ソフトの充実や通信環境の一層の改善など、引き続き環境整備を図っていく。 ○学習活動の一層の充実と「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進するため、機器の効果的な活用や、思考力・判断力・表現力等の育成、情報活用能力の育成を図るための教職員への研修を実施するとともに、ICT支援員を配置して、教職員の授業支援を行うなどサポート体制を整える。	現状値	目標値	
	2	4	10			17	令和6年度
基本方策の番号							
SDGsの取組番号							

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題				具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【学びを広げ深める学校図書館へ】 各学校での読書活動の推進と授業での調べ学習などで、効果的に学校図書館を活用して、児童生徒の読解力・思考力・表現力等を養い、豊かな心を育みます。	基本方策の番号	4	5	6				現状値	目標値
		2	4	10	16	17		令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号								
基本的方向		現状・課題				具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【ふるさとへの愛を育む】 地域の自然、歴史、文化、伝統行事を通じた、ふるさと教育を充実し、出雲をふるさととして誇りと愛着を持ち、夢や目標を自らの力で実現しようとする子どもを育てます。	基本方策の番号	4	5	6				現状値	目標値
		2	4	10	16	17		令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号								

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題				具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【家庭・地域と学校が手をつなぐ】 地域の教育資源や地域住民の思いを生かした教育課程を編成するなど、家庭・地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの「生きる力」を育みます。	基本方策の番号	4	5	6				現状値	目標値
	SDGsの取組番号	2	4	10	16	17		令和6年度	令和11年度
基本的方向		現状・課題				具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【出雲ならではの学び体験を】 出雲科学館を活用した理科学習や、総合的な学習の時間をはじめとした体験学習の充実を図り、創造性豊かな人材の育成をめざします。	基本方策の番号	4	5	6				現状値	目標値
	SDGsの取組番号	2	4	10	16	17		令和6年度	令和11年度

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 22

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
【子どもの育ちをなめらかにつなぐ】 幼稚園・保育所から小学校、小学校から中学校への進学時の教育の接続を円滑に行うとともに、子どもや保護者の不安や戸惑いを軽減するために、計画的に保幼小中の連携を支援します。	4	5	6	○保幼小連携では、就学予定時やその保護者の就学に対する不安を解消することを目的に、市内一斉の「保幼小交流の日」を実施しています。 ○保育所、幼稚園、小学校から各5名、計15名の委員がなる保幼小連携推進委員会を設置し、各所・園・校の取組の情報共有を図り、連携推進の取組の検討を行っています。 ○小中連携では、小学校教育を踏まえた中学校教育、中学校教育を見通した小学校教育の実現を目指して、全中学校区において目指す子ども像の実現に向けて、テーマを決めて取組を進めている状況です。 ○保幼小連携では、小学校区等での独自の幼児・児童の交流ができていない校区があります。	具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)		
	2	4	10		16	17		現状値	目標値
基本方針の番号	4	5	6						
SDGsの取組番号									
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
【一人ひとりの子どもの成長を支える】 ○幼児・児童生徒の支援の多様化に対応するため、関係機関と連携し、継続して切れ目のない支援を行うことで、一人ひとりを大切にす特別支援教育の充実を図ります。 ○不登校・いじめ・問題行動等の解決は、小・中学校の喫緊の課題となっており、未然防止はもとより、早期に発見し組織的に対応するとともに、教育支援センター等での支援体制の充実・強化を図ります。	現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)				
	4	5	6	2	4	10	16	17	現状値
基本方針の番号	4	5	6						
SDGsの取組番号									

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【日本語指導で広がる子どもの希望】 日本語指導が必要な帰国・外国籍の子どもたち に、日本語の確実な習得等ができるように支援する とともに、将来の目標や夢を持つことができるよう キャリア教育の実施などの支援を行います。	4	5	6	<p>〇市内小・中学校に拠点校（小学校3校（塩冶小、四絡小、中部小）、中学校3校（第二中、第三中、斐川西中））、出雲科学館内に日本語初期集中指導教室を設け、日本語指導が必要な帰国・外国籍児童生徒に対する日本語指導や学習支援を行っています。</p> <p>〇県の加配教員16名に加え、市独自に日本語指導員20名、日本語指導補助員4名、通訳・翻訳支援員4名を任用して、一人ひとりの実態に応じたきめ細かな教育を行っています。</p> <p>〇生活言語は定着しやすいが、学習言語の習得に課題があります。</p> <p>〇来日間もない子どもや保護者にとっては、進学など日本での将来の見通しに不安を持っていることが多い状況です。</p>	<p>〇日本語指導が必要な帰国・外国籍児童生徒に対する持続可能な指導体制を確保するため、引き続き、拠点校や日本語初期集中指導教室における指導の充実を図る。</p> <p>〇児童生徒に将来の目標や夢を持ってもらうためのキャリア教育を実施する。</p> <p>〇ポルトガル語を話すことができる通訳・翻訳支援員や日本語指導補助員を配置し、児童生徒の支援及び保護者に対しても学校から出される文書の翻訳や面談時の通訳など、寄り添った支援を行う。</p>	現状値	目標値
	2	4	10			17	令和6年度
SDGsの取組番号							
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【安全・安心でおいしい学校給食を】 学校給食に地元産食材を積極的に使用することにより、安全・安心な給食を提供し、地域への愛着や生産に携わる方々への感謝の心を育み、子どもたちの健全な心身の育成を図ります。	4	5	6	<p>〇地元産食材の積極的な使用を図るため、生産者、JA、納入事業者、学校給食センターの間で、「学校給食マツタング会議」を開催し、需要と供給に係る情報交換を行っています。これにより、多くの地元産食材を献立に反映するとともに、旬の食材を調達しました。</p> <p>〇地元産食材の使用については、必要な数量確保が課題となっています。</p>	<p>〇米は出雲市産「きぬすめ」を使用</p> <p>〇「学校給食マツタング会議」に農林水産部局の参画を得ながら、地元産食材の積極的な使用に取り組む</p>	現状値	目標値
	2	4	10			17	令和6年度
SDGsの取組番号							

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 22

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【学びの場を整える】 ○学校施設の耐震化を早期に完了するとともに、学校再編による新設校や今後必要となる教室数を確保するための整備に取り組みます。 ○老朽化の著しい施設は長寿命命化改修することを基本とし、学校規模に対し狭隘なものは改築を進め、学びに集中できる教育環境の整備を行います。			○学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす場所であり、安全確保が重要な課題です。また、災害時には避難所としても機能するなど、早期に耐震化対策を完了する必要があります。 ○令和7年度開校に向け、国富小・西田小・鰐淵小・北浜小の学校統合の協議が進んでいます。 ○局地的な宅地化により、子どもたちの社会増が生じ、将来的に教室不足が見込まれる学校がある状況です。 ○建築後30年以上経過した学校施設が6割程度あり、老朽化に対応した改修や改築が必要です。 ○施設整備には、大きな財源が必要となるため、財政計画と調整を図りつつ、優先順位を定め、事業展開しなくてはなりません。また、国庫補助金等の有利な財源を確保していく必要があります。	○学校施設の耐震化対策として、対象施設の改築を進める。 ○国富小・西田小・鰐淵小・北浜小の統合校について、令和7年度開校に向け、施設整備を進める。 ○子どもたちの社会増や学級編成基準の変更により必要となる校舎増築や内部改修について、状況を注視しながら計画的な整備を図る。 ○老朽化した施設について、財政計画と調整を図りながら、長寿命命化対策を順次実施していく。 ○学校規模に対し狭隘で老朽化が著しい施設は、順次改築を進める。 ○事業実施にあたっては、国庫補助金等を活用し、有利な財源確保に努める。		現状値	目標値
	基本方策の番号	4	5	6	令和6年度	令和11年度	
SDGsの取組番号	2	4	10	16	17		

(まちづくりの施策)

基本的方向							現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<p><b>【市民協働の力が地域課題を解決】</b> 市と市民団体の連携のもと、地域の抱える課題について考え、創意工夫する自主的・主体的な市民活動を促進するため、市民団体が行う活動に関する情報提供や支援を行います。</p>							<p>現状・課題 ○市民団体との協働事業を促進するため、市民協働事業支援補助金の交付や、相談・支援を行いました。 ○ボランティア団体の活動を支援するとともに、ネットワークの充実を図りました。 ○市と市民団体との協働をさらに進めていくため、情報の発信や、支援補助金の充実が必要です。</p>		<p>具体的施策 ○市民協働事業支援補助金の更なる活用を進めるため、関係機関でのPRや、補助金の内容の見直し ○出雲市総合ボランティアセンターを中心に、情報の収集や紹介、人材育成等の更なる拡充</p>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p>	
基本方策の番号	3	4	5	6			現状値	目標値	令和6年度	令和11年度		
SDGsの取組番号	4	11	17									
<p><b>基本的方向</b></p>							<p>現状・課題 ○地域課題の解決や社会ニーズに対応した生涯学習講座を開催しました。 ○より多くの市民に地域の良さを発信できるよう人材を育成していく必要があります。</p>		<p>具体的施策 ○社会教育の視点を持ち、「人づくり」や「つながりづくりを進めるための生涯学習講座の実施 ○学習の成果をボランティア活動や地域活動に活かせるように、出雲市総合ボランティアセンターとの連携</p>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p>	
基本方策の番号	3	4	5	6			現状値	目標値	令和6年度	令和11年度		
SDGsの取組番号	4	11	17									
<p><b>【多様な学びを地域で生かす】</b> 地域に関心を持ち、地域課題の解決に向けた役割を果たす「人づくり」を進めるとともに、子どもの育ちを核とした、多様な他者と連携・協働する「つながりづくり」を進め、市民の多様な学び・活動を「地域づくり」へつなげます。</p>												

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題						まちづくりの指標 (KPI)	
【多様な学びを地域で生かす】 地域に関心を持ち、地域課題の解決に向けた役割を果たす「人づくり」を進めるとともに、子どもの育ちを核とした、多様な他者と連携・協働する「つながりづくり」を進め、市民の多様な学び・活動を「地域づくり」へつなげます。	基本方策の番号	3	4	5	6	現状値		目標値	
		4	11	17		令和6年度	令和11年度		
	SDGsの取組番号								
基本的方向		現状・課題						まちづくりの指標 (KPI)	
【多様な学びを地域で生かす】 地域に関心を持ち、地域課題の解決に向けた役割を果たす「人づくり」を進めるとともに、子どもの育ちを核とした、多様な他者と連携・協働する「つながりづくり」を進め、市民の多様な学び・活動を「地域づくり」へつなげます。	基本方策の番号	3	4	5	6	現状値		目標値	
		4	11	17		令和6年度	令和11年度		
	SDGsの取組番号								

**具体的施策**  
○推進員による、児童・生徒の地域行事への参加の働きかけ

**現状・課題**  
○中学校区に地域学校協働活動推進員を順次配置し、子どもの地域活動への参加の場を設定してまいります。

**具体的施策**

○自主企画事業における新規事業割合が増やせるよう、コミュニケーションセンター職員や地域住民を対象とした各種研修を実施し、事業に携わる人のスキルアップを図る。

**現状・課題**

○地域住民主体による特色ある地域づくりを推進することを目的として、市内4・3地区で自主企画事業を実施されており、これらの活動に対し、自主企画事業交付金を交付しています。  
○課題としては、事業内容で継続的なものが大半である地区があり、マンネリ化の傾向がある。

(まちづくりの施策)

基本的方向							現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)																														
<p>【NPO法人等の力を伸ばす】 NPO法人等の活動の多様性や自主性を尊重し、特定非営利活動の健全な発展を促進するとともに、意見交換会も含めたネットワークづくりや相談業務などの支援を行います。</p>							<p>○NPO法人等の活動の健全な発展を促進するため、指導や支援を行いました。 ○出雲市総合ボランティアセンターを中心に、ボランティア団体の活動を支援するとともに、ボランティアのネットワークの拡大に取り組みました。 ○NPO法人等の活動をさらに発展できるよう情報を発信することが必要です。 ○NPO法人の運営方針から、労働者協同組合などの他の法人形態へ組織変更する場合があります。</p>		<p>具体的施策 ○出雲市総合ボランティアセンターを中心に情報の収集や紹介、人材育成、相談業務の更なる拡充 ○NPO法人等のネットワークづくりなどの支援</p>		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			現状値	目標値		令和6年度	令和11年度																							
現状値	目標値																																								
	令和6年度	令和11年度																																							
<p>基本的方向</p>							<p>現状・課題</p>		<p>具体的施策</p>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p>																														
<p>【ボランティア活動のススメ】 ○ボランティア意識の啓発・普及に努め、ボランティアに関する情報の収集や紹介、人材育成、相談業務の拡充に努めます。 ○総合ボランティアセンターなどで、ボランティア団体の活動を支援するとともに、ボランティアのネットワークの拡大や災害時に対応できるボランティアの啓発や推進に取り組みます。</p>							<p>○出雲市総合ボランティアセンターを中心に、ボランティア団体の活動を支援するとともに、ネットワークの充実に努めました。 ○災害時に対応できる災害ボランティアセンター運営のコミュニケーションを、出雲市総合ボランティアセンターを中心に、地域のボランティア団体や社会福祉協議会と連携して取り組みました。 ○災害発生時に速やかに対応できるよう、ボランティア団体の育成や定期的な訓練が必要です。</p>		<p>具体的施策 ○ボランティア団体の活動の支援やネットワークの充実 ○災害に対応できる組織づくりと、訓練の実施</p>		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			現状値	目標値		令和6年度	令和11年度																							
現状値	目標値																																								
	令和6年度	令和11年度																																							
<table border="1"> <tr> <td>基本方策の番号</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SDGsの取組番号</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							基本方策の番号	3	4	5	6			SDGsの取組番号	4	11	17																								
基本方策の番号	3	4	5	6																																					
SDGsの取組番号	4	11	17																																						
<table border="1"> <tr> <td>基本方策の番号</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SDGsの取組番号</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							基本方策の番号	3	4	5	6			SDGsの取組番号	4	11	17																								
基本方策の番号	3	4	5	6																																					
SDGsの取組番号	4	11	17																																						

(まちづくりの施策)

基本的方向							現状・課題			具体的施策			まちづくりの指標 (KPI)																				
<p><b>【自治会加入で暮らしに安心を】</b> 自治会は安全で安心なまちづくりの実現に不可欠な、最も身近な住民自治組織です。持続可能な自治会活動に向けて、自治協会等の自治会加入促進の取組や、地域課題解決に向けた取組に対し、補助事業による支援を行います。</p>							<p>現状・課題</p> <p>○住民の価値観の多様化や近隣関係の希薄化などにより、自治会活動に関心を持たない世帯が増えており、自治会加入率は年々低下しています。 ○「加入のメリットが見えにくい」「加入しなくても困らない」等の理由から新規加入が進まず、また、「高齢により役員が担えない」等の理由により、脱退する世帯も増えている状況です。 ○地域社会において、変化するニーズに的確に対応し、持続可能な形で活動できるようにするための方策について検討する必要があります。</p>			<p>具体的施策</p> <p>○民間事業者とも連携を取りながら、新規の加入促進に取り組み。 ○自治会支援アドバイザー事業により、自治会の体制、運営についての課題を洗い出し、専門家の指導・助言を受けながら、課題解決に取り組み。 ○地域活動のデジタル化を進めるなど、現役世代や若者も参加しやすい自治会活動について支援していく。</p>			<p>まちづくりの指標 (KPI)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			現状値	目標値		令和6年度	令和11年度													
現状値	目標値																																
	令和6年度	令和11年度																															
<p><b>基本的方向</b></p> <p>【“コミセン”が4.3のふるさとを支える】 ○市内43コミュニティセンターは、地域に一番密着した市の施設として、住民主体のまちづくり事業を支援します。 ○市民協働活動及び地域防災の拠点であるコミュニティセンターのデジタル化を推進し、一層の連携強化を図ります。</p>							<p>現状・課題</p> <p>○コミュニティセンターを自主企画事業（生涯学習）の拠点として位置づけ、様々な学習を行っています。 ○また、地域と行政の結束点としての役割のほか、諸団体と連携・協働しながら自主的な活動を促進し、地域の人づくり、まちづくりの総合的な拠点として活動しています。 ○課題としては、デジタル化への対応が十分でない面があります。</p>			<p>具体的施策</p> <p>○新たに市民も利用できるP Cを配置し、デジタル化を推進。 ○コミュニティセンターの利用時に、配置したP CやWi-Fiを利用してWeb会議や講演会を開催してもらい、遠方の専門家等との交流を市民のスキルアップにつなげ、市民主体のまちづくりを推進。</p>			<p>まちづくりの指標 (KPI)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td colspan="2">目標値</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>令和11年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			現状値	目標値		令和6年度	令和11年度													
現状値	目標値																																
	令和6年度	令和11年度																															
<p><b>基本的方向</b></p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">基本方策の番号</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">SDGsの取組番号</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							基本方策の番号	3	4	5	6	4	11	17		SDGsの取組番号																	
基本方策の番号	3	4	5	6																													
	4	11	17																														
SDGsの取組番号																																	
<p><b>基本的方向</b></p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">基本方策の番号</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">SDGsの取組番号</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							基本方策の番号	3	4	5	6	4	11	17		SDGsの取組番号																	
基本方策の番号	3	4	5	6																													
	4	11	17																														
SDGsの取組番号																																	

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題				具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【高等教育機関との連携で地域課題を解決】 ○高等教育機関等との連携協定により、人材育成、産業振興、保健・医療・福祉の向上など多様な分野で連携・協力を進めます。 ○魅力ある地域づくりの学生の参画を進めるなど、地域の未来を担う人材育成に努めます。	3	4	5	6	○地元大学・専門学校との連携による人材育成	現状値	目標値		
	4	11	17				令和6年度	令和11年度	
SDGsの取組番号									

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<p>【芸術文化でこころ豊かに】</p> <p>○心の豊かさが真に実感できる「芸術文化の都出雲」の創造の実現をめざします。出雲総合芸術文化祭や出雲芸術アカデミーなどを通して、鑑賞機会や発表機会を充実させ、誰もが気軽に芸術文化に接する機会の提供に努め、市民の積極的な参加促進を図ります。</p> <p>○音楽活動を出雲の特色ある活動として、「音楽のまち出雲」の推進に努めます。</p> <p>○市内文化施設について、市民が身近に芸術文化活動に取り組みめる環境づくりに努めます。</p>		<p>現状・課題</p> <p>(まちづくりの施策)</p> <p>○様々な芸術文化の鑑賞機会や発表機会の充実が必要で す。</p> <p>○芸術文化情報が市民に上手く伝わっていないため、様々なツールによる市民への情報発信の強化が必要 です。</p> <p>○市民の芸術文化の活動・発表・鑑賞の場である文 化施設の施設・設備の老朽化・陳腐化が進んでいる ため、文化施設の整備・充実が必要です。</p> <p>○感染症流行下における芸術文化活動の継続が必 要 です。</p>		<p>具体的施策</p> <p>○出雲総合芸術文化祭の推進 ○音楽活動の推進～「音楽のまち出雲」の推進～ ○市民主体の芸術文化活動の促進と支援 ○文化施設の施設整備</p>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p>	
基本方策の番号	3	4	5	6	現状値	目標値	
SDGsの取組番号	4	11	17		令和6年度	令和11年度	

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)									
<p>【芸術文化を支える人づくり】</p> <p>すべての市民が生涯を通じて、芸術文化活動に慣れ親しみ、参画ができる環境づくりを推進します。特に、伝統芸能をはじめとする芸術文化を次世代に伝えていくため、子どもたちが芸術文化に触れる機会を充実させるなど、人材育成に努めます。併せて、市民の芸術文化活動に対する支援体制の充実を図ります。</p>		<p>現状・課題</p> <p>○子どもが様々な芸術文化に触れる機会の充実が必要です。</p> <p>○地域で継承されてきた伝統芸能活動は、少子高齢化による担い手不足から存続が危惧されており、地域伝統芸能活動の周知、人材育成支援が必要です。</p> <p>○多くの文化団体が「会員の高齢化」「会員数の減少」「後継者不足」の課題を抱えており、文化団体への支援のあり方の検討が必要です。</p> <p>○市全域の文化団体を統括する組織がなく、受けられる情報や支援に文化団体間で差が生じており、文化団体間の交流促進や補助金の見直しが必要です。</p>		<p>具体的施策</p> <p>○芸術文化を担う人材の育成</p> <p>○芸術文化意識の啓発と醸成</p> <p>○地域伝統芸能活動の推進～保存・継承・活用～</p> <p>○文化交流の促進</p>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td>令和6年度</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td></td> </tr> </table>		現状値	令和6年度	目標値	令和11年度				
現状値	令和6年度	目標値													
	令和11年度														
<p>基本的方向</p> <p>【出雲が誇る文化資源を世界へ発信】</p> <p>地域の歴史や文化遺産、出雲を題材にしたメディア芸術（映画、漫画、アニメーション）や地域伝統芸能の祭典など、国内外へ出雲の文化資源を生かした情報発信の取組を進めます。</p>		<p>現状・課題</p> <p>○本市では、「日本遺産」の認定や「日本博」への参画など、有形・無形の文化資源を活用した事業に取り組んでおり、文化資源を活用した市外への情報発信の強化が必要です。</p>		<p>具体的施策</p> <p>○文化資源を活かした情報発信の取組</p> <p>○多言語対応のウェブサイト(出雲文化ナビ)による情報発信</p>		<p>まちづくりの指標 (KPI)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">現状値</td> <td>令和6年度</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td></td> </tr> </table>		現状値	令和6年度	目標値	令和11年度				
現状値	令和6年度	目標値													
	令和11年度														
<p>基本方策の番号</p> <table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11</td> <td>17</td> <td></td> </tr> </table>		3	4	5	6	4	11	17							
3	4	5	6												
4	11	17													
<p>SDGsの取組番号</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>															

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 25

基本的方向		現状・課題						具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【自分を超える、神話をつくれ～島根かみあり国スポ・障スポ～】 令和12年(2030)に島根県において開催予定の、国民スポーツ大会を見据えた競技力向上、全国障害者スポーツ大会を見据えた障がい者スポーツの普及促進を図るなど、県とともに様々な取組を前へ進めます。	3	4	5	6			○国民スポーツ大会やその後の大会を見据えたジュニア期(小学生・中学生)におけるアスリート育成の強化 ○全国障害者スポーツ大会を見据えた障がい者スポーツの競技ルールの普及、PR ○市町村の役割として示されている競技会場運営に係る体制整備 ○出雲駅伝など大型スポーツイベントの運営ノウハウを活用したスタッフ等のスキルアップ	現状値	目標値	令和6年度	令和11年度
	3	4	11	17							
基本方策の番号											
SDGsの取組番号											

(まちづくりの施策)

基本的方向						現状・課題			具体的施策			まちづくりの指標 (KPI)										
<p>【「する」「みる」「支える」がススポーツへ～Enjoy Sports Enjoy Life～】</p> <p>○「『夢を育み、人を結び、まちが輝く』スポーツ文化都市・出雲の創造」の実現をめざします。市民一人ひとりがそれぞれのライフステージに応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむ、触れることのできる環境づくりを推進します。</p> <p>○長年地域の方々に支えられている、大学三大駅伝の「出雲駅伝」をはじめとするスポーツイベントを引き続き開催し、スポーツ振興とともに、スポーツツーリズムやシティセールスなど、交流人口の拡大や地域の活性化につなげます。</p> <p>○令和6年(2024)春に開館を予定している新体育館をはじめとした市内スポーツ施設について、市民が身近にスポーツに取り組める環境づくりに努めます。</p> <p>○新スポーツとしてのeスポーツ（ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称）を推進します。</p>						<p>○多くの市民に笑顔があふれるよう、ライフステージに応じたスポーツに触れる機会を引き続き提供する必要があります。</p> <p>○出雲駅伝の開催やデオッサ出雲FCへの支援は、本市のシティセールスにもつながり、市民の一体感の醸成も図られているものと考えます。</p> <p>○新体育館については、令和6年(2024)4月の開館に向け、着実に事業を実施していく必要があります。</p> <p>○近年は、情報通信技術の発達により、SNSやデジタル技術を活用したスポーツ情報の発信が主流となる中、情報をデジタルで得るだけでなく、直接、対戦型のゲーム競技として行うeスポーツの分野も成長産業として注目されていますが、国としては、現時点では、スポーツとしての位置づけが明確でないため、支援の方向性を検討する必要があります。</p>			<p>○ライフステージに応じたスポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージを「幼年期(未就学児)」「青少年前期(小学生)」「青少年後期(中学生～高校生)」「青年期(19歳～64歳)」「高齢期(65歳以上)」に区分に応じたスポーツ活動の推進</li> <li>○スポーツ活動によるシティセールスの推進</li> <li>・出雲駅伝の開催</li> <li>・デオッサ出雲FCへの支援</li> <li>・スポーツ施設を活用した強化合宿の誘致の検討や連携協定企業スポーツ選手などによるスポーツ教室の開催</li> </ul> <p>○スポーツ施設の管理運営と新たな整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存スポーツ施設の適正な管理運営</li> <li>・新体育館の建設とスポーツ実施環境の充実</li> <li>○デジタル技術の活用推進</li> <li>・オンライン配信を活用したスポーツ教室等の実施・検討、企業と連携したeスポーツの支援策の検討</li> </ul>			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">現状値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <th>令和6年度</th> <th>令和11年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			現状値	目標値		令和6年度	令和11年度			
現状値	目標値																					
	令和6年度	令和11年度																				
<p>基本方策の番号</p> <table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </table>						3	4	5	6													
3	4	5	6																			
<p>SDGsの取組番号</p> <table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>17</td> </tr> </table>						3	4	11	17													
3	4	11	17																			

(まちづくりの施策)

基本的方向							現状・課題		具体的施策	まちづくりの指標 (KPI)		
【スポーツを支える人づくり】 ○スポーツ団体や企業と連携して、指導者の育成・確保に努めます。 ○スポーツイベントの運営を支えるボランティアの育成に努めます。							○各スポーツ団体における指導者については、高齢化が進むとともに、指導者が減少傾向にあり、人材の確保とその育成が喫緊の課題となっています。 ○スポーツイベントを支える役員や会員も、高齢化と人材不足が課題となっており、出雲駅伝のみならず、島根県国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会も見据えた、スポーツ大会やスポーツイベントの運営を支えるボランティアの育成・確保に努めていく必要がありません。	○スポーツ団体の組織強化と活性化 ○スポーツ指導者の育成・確保 ・スポーツ団体による講座・研修会の開催 ・スポーツリーダーバンクの再構築 ・部活動指導員の育成・確保 ○スポーツ推進委員の育成・確保 ・スポーツ推進委員会の開催 ・各種研修会への参加と支援 ○スポーツボランティアの確保 ・ボランティア団体との連携によるスポーツボランティアの確保 ・企業ボランティアの活用	現状値	目標値		
	基本方策の番号	3	4	5	6	令和6年度				令和11年度		
SDGsの取組番号	3	4	11	17								

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【地域で学び、楽しむ】 本市の地域特性を生かし、地域の歴史や文化などについて学ぶ講座を開催します。その学習成果により、コミュニティを支えていく人材を育成し、市民が自ら地域課題の解決に参画できる社会の構築を進めます。	基本方策の番号	4	5	6	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	4	11	17		令和6年度	令和11年度
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【地域で学び、楽しむ】 本市の地域特性を生かし、地域の歴史や文化などについて学ぶ講座を開催します。その学習成果により、コミュニティを支えていく人材を育成し、市民が自ら地域課題の解決に参画できる社会の構築を進めます。	基本方策の番号	4	5	6	現状値	目標値	
	SDGsの取組番号	4	11	17		令和6年度	令和11年度

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【なんでも見つかる情報の宝庫】 図書館においては、図書、郷土資料、新聞・雑誌、インターネット上の情報など幅広い資料の収集と提供を行い、市民の読書活動を支えるとともに、自主的な調査・研究や学習活動を支援します。	4	5	6	<p>○地域の情報拠点として、高度化・多様化する市民のニーズに応えるため、時代に対応する図書、雑誌、パンフレット、視聴覚資料等の多様な資料の収集に努めました。</p> <p>○出雲の歴史、文化、行政等の郷土に関する資料を次世代に引き継ぐため、資料の収集に取り組みました。</p> <p>○市民の自主的な学習活動を支援するため、レファレンスサービスをはじめ、関係機関、学校、民間団体等と連携し、講座、講演会、資料展示等を開催しました。</p> <p>○インターネットやスマートフォン等の普及、また、新型コロナウイルス感染拡大により、貸出総数は減少傾向にあります。利用者の拡大を図るため、積極的な広報活動及び情報公開を行う必要があります。</p>	<p>まちづくりの指標 (KPI)</p>		<p>○市内7つの図書館の特色を生かした展示や連携事業の推進</p> <p>○市役所各課・関係機関及び民間団体等とタイアップによる展示、講演会の開催</p> <p>○図書館の豊富な情報を生かしたレファレンス機能の充実</p> <p>○ホームページやSNSを活用した情報発信の強化</p>
	基本方策の番号	4	11		17	現状値	
SDGsの取組番号							
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
【子ども本のかけ橋に】 豊かな心を育て、主体的に学び、たくましく生きる力を育てるために、図書館を校とし、家庭、学校、地域の読書ボランティア等と連携して、発達段階に応じた子どもの読書活動を推進します。	4	5	6	<p>○子どもたちが読書に興味を持ち、本に親しむ習慣を身につける機会を提供するため、小中学校・幼稚園・保育所などに向け、子ども読書活動支援専門ボランティアを派遣しました。</p> <p>○子どもと周囲の大人に向けて、児童書の紹介チラシやパンフレットを配布しました。</p> <p>○公共図書館や学校図書館における読書活動は多くのボランティアの協力により支えられていますが、ボランティアの高齢化が進んでおり、人材の育成・確保に継続的に取り組む必要があります。</p>	<p>まちづくりの指標 (KPI)</p>		<p>○学校等で行うブックトークやストーリーテリングを支援するための子ども読書活動支援専門ボランティアの派遣</p> <p>○子ども読書活動専門ボランティアを育成・確保する専門講座の開催とフォローアップ</p> <p>○子どもと読み聞かせに係る啓発・紹介チラシやパンフレットの作成・配布</p> <p>○学校図書館支援センターの運営</p>
	基本方策の番号	4	11		17	現状値	
SDGsの取組番号							

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<b>【出雲ファンを増やす】</b> ○デジタルマーケティングの手法により、ウェブサイトへ誘導することで、主に県外に向けて出雲をPRし、出雲ファンの増加につなげます。 ○ふるさと納税を活用し、多くの人とご縁を結び、交流人口や関係人口の創出と拡大につなげます。	3	5	6	○出雲市に興味はあるが、行動するまでに至らない層(潜在的なファン)をターゲットに、各人の興味・関心に応じた情報を届けるため、本市のウェブサイトへ誘導するためのインターネット広告を配信し、観光客や移住者の増加等につなげています。 ○デジタルマーケティングによるプロモーションは、これまでの情報発信に比べて、より効果的に受け手に伝わる情報発信の手法であるため、今後もインターネット広告の効果を検証し、より効果的な情報発信を図る必要があります。 ○企業版ふるさと納税制度を活用し、市外企業からの寄附金を募り、出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略に掲げる目標の達成に向けた取組を行っています。	○デジタルマーケティングによる戦略的かつ効果的な情報発信 ○民間企業等が運営する企業版ふるさと納税専用のプラットフォームを利用	現状値	目標値
	8	11	17			令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号						
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<b>【出雲ファンを増やす】</b> ○デジタルマーケティングの手法により、ウェブサイトへ誘導することで、主に県外に向けて出雲をPRし、出雲ファンの増加につなげます。 ○ふるさと納税を活用し、多くの人とご縁を結び、交流人口や関係人口の創出と拡大につなげます。	3	5	6	○ふるさと納税は、全国的に年々増加傾向にあり、本市の「日本の心のふるさと出雲」応援寄附についても、令和3年度は過去最高の寄附額となっています。財源の確保だけでなく、出雲の魅力発信とファン増加に大きく貢献している事業です。 ○今後も各自治体で、寄附者の獲得競争が激化するが見込まれるため、魅力的な返礼品の開発、より効果的な情報発信等を進める必要があります。	○返礼品を提供する新規事業者の掘り起こし及び返礼品の開発 ○専門業者を活用したふるさと納税ポータルサイト等の効果的な情報発信 ○都市圏等で多くの集客が見込まれるイベント等での広報、PR	現状値	目標値
	8	11	17			令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号						

(まちづくりの施策)

まちづくりの施策 27

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<p>【「いずもな暮らし」からはじめよう】 移住支援情報や空き家情報など暮らしの情報を伝えるサイト「いずもな暮らし」や出雲で働く（活躍する）人「出雲人」に着目し、産業を紹介するサイト「出雲人-ZUMOZINE」の充実を図り、「魅力」、「暮らし」、「しごと」の情報を伝え、市内での移住、就労につなげます。</p>	3	5	6	<p>○移住支援サイト「いずもな暮らし」において、Iターン女性による出雲暮らしの魅力を伝えるブログや移住者のインタビュー記事、空き家バンクでの物件紹介等を掲載し、移住支援情報を発信しています。 ○出雲の産業情報発信サイト「出雲人-ZUMOZINE」において、様々な産業に従事する「人」にスポットを当て、全国に向けて情報発信を行っています。 ○出雲での生活や仕事への入り口となるよう、UIターン希望者の知りたい・欲しい情報を的確に把握し、柔軟にコンテンツを作成していく必要があります。</p>	<p>○移住相談等を通じたニーズの把握 ○専門業者や外部ライター等を活用したコンテンツ内容の充実 ○新規支援制度「いずもな新生活応援助成金」対象者による新婚・子育て世帯目線での「出雲暮らしの魅力」の情報発信開始</p>	現状値	目標値
	8	11	17				令和6年度
	基本方策の番号						
SDGsの取組番号							
基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)	
<p>【日本中を駆ける！ヤマタノオロチ（出雲ナンバー）】 出雲版図柄入りナンバープレート（出雲ナンバー）の普及促進を図り、出雲ナンバーを付けた自動車を守る広告塔として活用することで、出雲の認知度向上やイメージアップを図ります。</p>	3	5	6	<p>○出雲神話に出てくるヤマタノオロチをデザインした図柄入り出雲ナンバーの導入により、出雲の名を全国に発信しました。 ○令和2年5月の交付開始以降、継続的に普及促進のための広報やキャンペーン等を行った結果、想定以上のペースで順調に交付枚数が伸びています。 ○今後も関係自治体・団体等と協議・検討を行いながら、更なる普及促進を図る必要があります。</p>	<p>○寄附金を活用した地域振興事業の開始及び事業実施による新たな寄附者（交付希望者）層の開拓 ○ホームページ、各種媒体、チラシ等を通じた通年的な広報 ○関係自治体・団体等との協議・検討の場の設定</p>	現状値	目標値
	8	11	17				令和6年度
	基本方策の番号						
SDGsの取組番号							

(まちづくりの施策)

基本的方向		現状・課題		具体的施策		まちづくりの指標 (KPI)			
【みんなに伝わる出雲の情報】 市民が主役のまちづくりの実現のため、市民が必要とする情報をより分かりやすく伝えることで、市政への理解と関心が高まる広報活動をめざします。	3	5	6	<p>○市政情報は、広報紙、ホームページ、SNS、ケーブルテレビ、防災行政無線などにより適時適切に情報発信しているほか、市長定例記者会見など報道機関へ情報提供も行っていきます。</p> <p>○情報提供にあたっては、できるだけ多くの人に届けるため、様々な媒体（広報紙・ホームページ・SNS・テレビ等）を活用し複合的に情報発信していく必要があることから、いづれかに偏ることなく多くの選択肢を用意するよう努めています。</p> <p>○情報化社会・デジタル社会の進展により情報通信媒体が多様化し、市民の市政情報提供の充実を望む声は高まっており、今後は、必要な情報を必要時に必要な人が取得できるようDXの推進を図り、一人ひとりのニーズに合った情報提供にも努めていく必要があります。</p>	<p>○広報紙を中心とした市民への情報提供の充実</p> <p>○体系的で検索しやすいホームページの構築</p> <p>○SNSの更なる活用によるパーソナライズサービス※の展開</p> <p>※一人ひとりの暮らしの状況（登録情報）に応じたサービスやコンテンツの提供。</p> <p>○新聞やテレビなどマスメディアの注目を集めることによる情報発信の強化・拡大</p> <p>○ケーブルテレビや防災行政無線などを活用したきめ細やかな情報発信の徹底</p>	<p>現状値</p>	<p>目標値</p>		
	8	11	17					令和6年度	令和11年度
	SDGsの取組番号								